

Getting Started with Studio for WPF/Silverlight

2016.01.20 更新

グレースィティ株式会社

1 目次

1. 目次	1-4
ComponentOne Studio for WPF/Silverlight ユーザーガイド	5
開発時のコンポーネントの作成	5
実行時にコンポーネントを作成する	5
ライセンスされたコンポーネントを継承する	5-6
再配布可能ファイル	6
XAML と XAML 名前空間	6-7
Microsoft Blend プロジェクトの作成	7
Visual Studio でのプロジェクトの作成	7
コンポーネントを Blend プロジェクトに組み込む方法	7-8
Visual Studio プロジェクトへの WPF コンポーネントの追加	8-9
Visual Studio プロジェクトへの Silverlight コンポーネントの追加	9
コンポーネントのランタイムファイル	9-21
コンポーネントのランタイムファイル	21
WPFのランタイムファイル	21-26
Silverlightのランタイムファイル	26-33
テーマ	33
使用可能なテーマ	33-34
BureauBlack	34
C1Blue(WPFのみ)	34-35
CosmopolitanとCosmopolitanDark	35-36
ExpressionDarkとExpressionLight	36-37
Office2007	37-38
Office2010	38-40
Office2013	40-41
RainierOrange(Silverlightのみ)	41-42
ShinyBlue	42
WhistlerBlue	42-43
カスタムテーマ	43
付属の XAML ファイル	43
WPFのXAMLファイル	43

C1.WPF	43-44
C1.WPF.Chart	44-45
C1.WPF.Chart3D	45
C1.WPF.Carousel	45
C1.WPF.DataGrid	45-46
C1.WPF.DataGridFilters	46
C1.WPF.DataGridSummaries	46
C1.WPF.DataSource	46
WPF.DateTimeEditors	46-47
C1.WPF.Docking	47
C1.WPF.Excel	47
C1.WPF.Extended	47
C1.WPF.FlexGrid	47
C1.WPF.FlexGrid.Filter	47-48
C1.WPF.Gauge	48
C1.WPF.Imaging	48
C1.WPF.Legacy	48
C1.WPF.Maps	48
C1.WPF.MediaPlayer	48-49
C1.WPF.Olap	49
C1.WPF.OrgChart	49
C1.WPF.OutlookBar	49
C1.WPF.PdfViewer	49
C1.WPF.ReportViewer	49
C1.WPF.RichTextBox	49-50
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar	50
C1.WPF.Schedule	50
C1.WPF.SpellChecker	50
C1.WPF.TileView	50
C1.WPF.Toolbar	50-51
SilverlightのXAMLファイル	51
C1.Silverlight	51-52
C1.Silverlight.Chart	52-53

C1.Silverlight.Chart3D	53
C1.Silverlight.Chart.Editor	53
C1.Silverlight.DataGrid	53-54
C1.Silverlight.DataGrid.Filters	54
C1.Silverlight.DataGrid.Ria	54
C1.Silverlight.DataGrid.Summaries	54-55
C1.Silverlight.DateTimeEditors	55
C1.Silverlight.Docking	55
C1.Silverlight.Extended	55-56
C1.Silverlight.FlexGrid	56
C1.Silverlight.FlexGrid.Filter	56
C1.Silverlight.Gauge	56
C1.Silverlight.Imaging	56
C1.Silverlight.MediaPlayer	56-57
C1.Silverlight.OrgChart	57
C1.Silverlight.OutlookBar	57
C1.Silverlight.PdfViewer	57
C1.Silverlight.ReportViewer	57-58
C1.Silverlight.Schedule	58
C1.Silverlight.Theming.BureauBlack	58-59
C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan	59
C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark	59
C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight	59-60
C1.Silverlight.Theming.Office2007	60
C1.Silverlight.Theming.Office2010	60
C1.Silverlight.Theming.RainierOrange	60-61
C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue	61
C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue	61
C1.Silverlight.TileView	61
C1.Silverlight.Toolbar	61
暗黙のスタイルと明示的なスタイル	61
暗黙のスタイル	62
WPF と Silverlight のスタイル設定	62-63

ImplicitStyleManager の使用	63
コントロールへのテーマの適用	63-64
Microsoft Ribbon コントロールへのテーマの適用	64-65
ウィンドウとダイアログへのスタイルの適用	66-68
アプリケーションへのテーマの適用	68-71
ComponentOne ClearStyle 技術	71
ClearStyle の仕組み	71-72
ClearStyle プロパティ	72-73
ローカライズ	73-74
WPF のローカライズ	74
Silverlight のローカライズ	74-75
UI オートメーションのサポート	75
UI オートメーションの概要	75-76
オートメーションピアクラスによる自動 UI テスト	76-80
Silverlight に関する参考情報	80
Silverlight のリソース	80-81
エンタープライズ環境への展開	81-82

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight ユーザーガイド

開発時のコンポーネントの作成

最も一般的で簡単な方法です。フォームにいくつかのコンポーネントを追加します。ライセンス情報は **licenses.licx** ファイルに格納され、コンポーネントが動作します。

このメカニズムは、Windows フォームでも Web フォーム (ASP.NET) プロジェクトでもまったく同じです。


実行時にコンポーネントを作成する

これもかなり一般的な方法です。フォーム内にコンポーネントのインスタンスは必要ないが、実行時にいくつかのインスタンスを作成するとします。

この場合は、プロジェクトに **licenses.licx** ファイルが含まれません。または、このファイルにコンポーネントの適切な実行時ライセンスが含まれません。そのため、ライセンスにエラーが発生します。

この問題に対応するには、コンポーネントのインスタンスをプロジェクト内のフォームに追加します。これにより、**licenses.licx** ファイルが作成され、問題なく動作するようになります。コンポーネントは、**licenses.licx** ファイルが作成されたら、フォームから削除できます。

licenses.licx ファイルにコンポーネントの厳密名の行を追加するには、コンポーネントのインスタンスをフォームに追加し、そのコンポーネントを削除する方法が簡単です。または、このファイルをメモ帳や Visual Studio で開き、テキストを追加することで、手作業で行を追加することもできます。Visual Studio がアプリケーションリソースを再作成するときに、コンポーネントが検索され、その実行時ライセンスが適切なアセンブリリソースに追加されます。

 **メモ:** このトピックの内容は、ComponentOne Studio for WPF にのみ適用されます。

ライセンスされたコンポーネントを継承する

ライセンスされたコンポーネントを継承するコンポーネントを作成する場合でも、フォームに格納するライセンス情報が必要です。これは、2つの方法で実行できます。

- コンポーネントに **LicenseProvider** 属性を追加する。
これにより、派生したコンポーネントクラスがライセンス済みとしてマークされます。コンポーネントがフォームに追加されると、Visual Studio が **licenses.licx** ファイルを作成して管理し、基本クラスが通常どおりライセンス処理を行います。これ以外の作業は必要ありません。次に例を示します。

マークアップ

```
[LicenseProvider(typeof(LicenseProvider))]  
class MyGrid: Cl.WPF.ClFlexGrid.ClFlexGrid  
{  
    // ...  
}
```

フォームに基本コンポーネントのインスタンスを追加する。

これにより、前の例と同様にライセンス情報が **licenses.licx** ファイルに埋め込まれ、これを基本コンポーネントが探し使用します。前と同様に、不要なインスタンスは **licenses.licx** ファイルの作成後に削除できます。

実行時ライセンスが派生クラス定義と同じアセンブリに埋め込まれており、そのアセンブリが DLL の場合、ComponentOne ライセンスは、派生コントロールに対してその実行時ライセンスを適用しないことに注意してください。この制限は、派生コントロールクラスアセンブリが他のアプリケーションで設計時ライセンスなく使用されないようにするために必要です。このようなア

センブリを作成する場合は、前に説明したいずれかの方法で、実行時にコンポーネントを作成する必要があります。

再配布可能ファイル

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight は、グレープシティ株式会社によって開発および公開されています。このコントロールを使用したり統合することができる環境であれば、Microsoft Visual Studio などの任意のプログラミング環境と組み合わせて、アプリケーションの開発に使用できます。また、ネットワークのクライアント側/ワークステーション側にある1つのCPUで個別に使用される場合に限り、開発したアプリケーションと一緒に、次に示す再配布可能ファイルが無償で配布できます。

- C1.WPF.製品名.v.dll

ここで、*ProductName* は製品名 (C1.WPF.dll には含まれません)、*v* はオプションのバージョン番号 (たとえば、.NET 4.0 の場合は4。 .NET 3.5 ファイルにバージョン番号は含まれません) です。

開発者グループにはサイトライセンスがあります。詳細については、sales@grapecity.com までお問い合わせください。



メモ: このトピックの内容は、ComponentOne Studio for WPF にのみ適用されます。ComponentOne Studio for Silverlight ではアセンブリ名が異なります。

XAML と XAML 名前空間

XAML は、Windows Presentation Foundation (WPF) と .NET Framework 3.0 以降でユーザーインターフェースマークアップ言語として使用される XML ベースの宣言型言語です。XAML を使用することで、グラフィカルにカスタマイズされた機能豊富なユーザーインターフェースを作成したり、データ連結を実行することができます。XAML の詳細については、<http://www.microsoft.com/ja-jp/> を参照してください。

XAML 名前空間

名前空間は、アセンブリ内で定義されるオブジェクトを組織化します。アセンブリは複数の名前空間を持つことができ、それらの名前空間も他の名前空間を持つことができます。名前空間はあいまいさを取り除き、クラスライブラリなどの大きなオブジェクトグループを使用する場合の参照を簡略化します。

Microsoft Expression Blend プロジェクトを作成すると、1つの XAML ファイルが自動的に作成され、いくつかの初期名前空間が指定されます。

名前空間	説明
<code>xmlns="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml/presentation"</code>	これは、Windows Presentation Foundation のデフォルトの名前空間です。
<code>xmlns:x="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml"</code>	これは、 x: プリフィックスにマップされる XAML 名前空間です。 x: プリフィックスは、WPF アプリケーションに必要なよく使用される多くの機能を定義する名前空間をすばやく簡単に参照する方法を提供します。

Microsoft Expression Blend または Visual Studio でウィンドウに **Studio for WPF/Silverlight** コントロールを追加すると、**Blend** または **Visual Studio** がこのコントロールの XML 名前空間を自動的に作成します。この名前空間は次のようになります。

```
xmlns:c1="http://schemas.componentone.com/winfx/2006/xaml"
```

この名前空間の値は **c1**、名前空間は **http://schemas.componentone.com/winfx/2006/xaml** です。これは統合名前空間です。これがプロジェクトに導入されると、参照に含まれるすべての ComponentOne WPF コントロールに XAML (および IntelliSense) からアクセスできるようになります。ただし、使用するコントロールごとにアセンブリへの参照を追加する必要があります。

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

ります。

また、この名前空間に独自の名前を付けることもできます。次に例を示します。

```
xmlns:My="http://schemas.componentone.com/winfx/2006/xaml"
```

これで、プロパティ、メソッド、およびイベントを割り当てる際に、独自の名前空間を使用できます。たとえば、境界線付きの **C1Book** を追加するには、次の XAML を使用します。

```
<My:C1Book Name="C1Book1" BorderThickness="10,10,10,10">
```

Microsoft Blend プロジェクトの作成

新しい Blend プロジェクトを作成するには、次の手順に従います。


1. Blend の起動ウィンドウで、[ファイル]メニューから[新しいプロジェクト]を選択するか、[新しいプロジェクト]をクリックします。
[プロジェクトの新規作成]ダイアログボックスが開きます。
2. [標準アプリケーション(.exe)]が選択されていることを確認し、[名前]テキストボックスにプロジェクト名を入力します。
[標準アプリケーション(.exe)]は、デザイン中にビルトして実行できる Windows ベースのアプリケーションのプロジェクトを作成します。
3. [参照]ボタンを選択し、プロジェクトの保存場所を指定します。
4. [言語]ドロップダウンボックスから言語を選択し、[OK]をクリックします。

XAML ウィンドウを持つ新しい Blend プロジェクトが作成されます。


Visual Studio でのプロジェクトの作成

Visual Studio で新しい WPF/Silverlight プロジェクトを作成するには、次の手順に従います。

1. Microsoft Visual Studio の[ファイル]メニューから、[新しいプロジェクト]を選択します。
[新しいプロジェクト]ダイアログボックスが開きます。
2. このダイアログボックスの右上にある[フレームワーク]ドロップダウンボックスから、適切な .NET Framework を選択します。
3. [プロジェクトの種類]から、[Visual Basic]または[Visual C#]のいずれかを選択します。

 **メモ:** Visual Studio 2005 の場合は、[プロジェクトの種類]メニューの **[Visual Basic]** または **[Visual C#]** から **[NET Framework 3.0]** を選択します。

4. 右ペインの[テンプレート]のリストから[WPF アプリケーション]または[Silverlight アプリケーション]を選択します。
5. [名前]フィールドにアプリケーションの名前を入力し、[OK]をクリックします。
新しい Microsoft Visual Studio .NET WPF/Silverlight プロジェクトが XAML ファイルと共に作成されます。このファイルは、アプリケーションのユーザーインターフェースおよびコマンドを定義するために使用されます。

 **メモ:** WPF アプリケーションは Microsoft Expression Blend または Visual Studio を使用して作成できますが、現在のところ、XAML ドキュメントを視覚的にデザインできる設計時環境は Blend だけです。このマニュアルでは、ほとんどの例で Blend を使用しています。

コンポーネントを Blend プロジェクトに組み込む方法


Blend の[デザイン]作業領域で、**ComponentOne Studio for WPF** コンポーネントを使用するには、最初にそのコンポーネントの **Studio for WPF** アセンブリへの参照を追加し、次に Blend の**アセットライブラリ**からコンポーネントを追加する必要があります。

アセンブリへの参照を追加するには

1. [プロジェクト]→[参照の追加]を選択します。
2. Studio for WPF と共にインストールされている C1.WPF アセンブリから、追加するアセンブリを参照して見つけます (C1.WPF.DataGrid.dll など)。
3. C1.WPF DLL ファイル (C1.WPF.DataGrid.dll など) を選択し、[開く]をクリックします。プロジェクトに参照が追加されません。

アセットライブラリからコンポーネントを追加するには

1. 必要な C1.WPF アセンブリへの参照を追加したら、Blend ツールボックスにある[アセットライブラリ]ボタン (山形袖章のようなボタン) をクリックします。アセットライブラリが表示されます。
2. [コントロール]ドロップダウン矢印をクリックし、[すべて]を選択します。
3. コントロールを選択します。このコンポーネントがツールボックスの[アセットライブラリ]ボタンの下に表示されます。
4. ツールボックスのコンポーネントをダブルクリックして、ウィンドウに追加します。

 **メモ:** このトピックの内容は、WPF版のファイル名を示します。Silverlight版では、ファイル名に含まれる[WPF]を [Silverlight]に置き換えてください。

Visual Studio プロジェクトへの WPF コンポーネントの追加

ComponentOne Studio for WPF をインストールすると、WPF コントロールが Visual Studio のツールボックスに追加されます。このツールボックスに ComponentOne コントロールを手作業で追加することもできます。

ComponentOne Studio for WPF は、いくつかのコントロールを提供します。**Studio for WPF** パネルまたはコントロールを使用するには、そのパネルまたはコントロールをウィンドウに追加するか、必要な **C1.WPF** アセンブリへの参照をプロジェクトに追加します (**C1.WPF.DataGrid.dll** など)。

手作業によるツールボックスへの Studio for WPF の追加

Studio for WPF をインストールすると、いくつかの **Studio for WPF** のコントロールとパネルが Visual Studio の[ツールボックスのカスタマイズ]ダイアログボックスに表示されます。

Studio for WPF コントロールを Visual Studio のツールボックスに手作業で追加するには、次の手順に従います。

1. Visual Studio IDE (Microsoft Development Environment) を開きます。必要に応じて [表示]メニューの [ツールボックス] を選択してツールボックスを表示し、ツールボックスを右クリックしてコンテキストメニューを表示します。
2. ツールボックスに Studio for WPF コンポーネントのタブを表示するには、コンテキストメニューの [タブの追加] を選択し、タブ名 (たとえば、「C1WPF」) を入力します。
3. コンポーネントを表示するタブを右クリックし、コンテキストメニューから [項目の選択] を選択します。

[**ツールボックス項目の選択**]ダイアログボックスが表示されます。

4. このダイアログボックスで、[WPF Framework コンポーネント]タブを選択します。
5. [名前空間]のリストをソートし ([名前空間]列ヘッダーをクリック)、追加する C1.WPF 名前空間に属するコンポーネントのチェックボックスをオンにします。名前空間には複数のコンポーネントが存在する場合があります。

ウィンドウへの Studio for WPF コントロールの追加

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

ComponentOne Studio for WPF コントロールをウィンドウまたはページに追加するには、次の手順に従います。

1. Visual Studio のツールボックスにコントロールを追加します。
2. コントロールをダブルクリックするか、ウィンドウにドラッグします。

アセンブリへの参照の追加

Studio for WPF アセンブリへの参照を追加するには、次の手順に従います。

1. プロジェクトの[プロジェクト]メニューから[参照の追加]オプションを選択します。
2. [.NET]タブまたは[参照]タブのリストから目的の ComponentOne Studio for WPF アセンブリを選択し、C1.WPF.Product.dll アセンブリを参照して見つけたら、[OK]をクリックします。
3. ウィンドウのキャプション領域をダブルクリックして、コードウィンドウを開きます。ファイルの先頭に、次の **Imports** 文 (C# の場合は using) を追加します。

```
C#  
  
Imports C1.WPF  
Imports C1.WPF.Product
```

これで、**Studio for WPF** アセンブリで定義されているオブジェクトがプロジェクトに表示されます。上のステップの "Product" は、適切なアセンブリ名に置き換えてください ("Extended" や "DataGrid" など)。

Visual Studio プロジェクトへの Silverlight コンポーネントの追加

Visual Studio では、ツールボックスにコンポーネントを追加しただけでは、プロジェクトにコンポーネントを追加したことにはなりません。プロジェクトの参照設定へ追加された時点でコンポーネントが組み込まれます。

以下のいずれかの操作を行うとプロジェクトへコンポーネントが組み込まれます。

1. ユーザーコントロールやページにコンポーネントを配置する
2. ソリューションエクスプローラ上で参照の追加を行う

プロジェクトに組み込まれているコンポーネントの一覧は、ソリューションエクスプローラで確認できます。また、各コンポーネントが使用している DLL もソリューションエクスプローラに登録される場合があります。詳細については、Visual Studio のヘルプを参照してください。

ユーザーコントロールやページにコンポーネントを配置する方法

以下に、コントロールをツールボックスに追加し、ユーザーコントロールやページに配置する方法を示します。これにより、コンポーネントがプロジェクトに組み込まれます。

配置手順

1. [ツール(T)]メニューから[ツールボックスアイテムの選択(X)]を選択します。
2. [ツールボックスアイテムの選択]ダイアログの「Silverlight コンポーネント」タブを選択します。
3. 使用するコンポーネントのチェックボックスを ON にして<OK>ボタンをクリックしてください。ツールボックスに指定したコントロールのアイコンが表示されます。
4. ツールボックスから指定したコントロールのアイコンを選択してユーザーコントロールやページに配置します。ソリューションエクスプローラの参照設定に指定したコントロールの名前空間が追加されます。

コンポーネントのランタイムファイル

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight のランタイムファイルは、次の通りです。

アセンブリファイル

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight


WPF ファイル	Silverlight ファイル	説明
C1.WPF.4.dll	C1.Silverlight.5.dll	本体アセンブリ - 基本コンポーネント
	C1.Silverlight.Analytics.5.dll	本体アセンブリ - Silverlight Analytics Framework 用コンポーネント
	C1.Silverlight.Automation.5.dll	本体アセンブリ
C1.WPF.Binding.4.dll	C1.Silverlight.Binding.5.dll	本体アセンブリ - Binding コンポーネント
C1.WPF.Carousel.4.dll	C1.Silverlight.Carousel.5.dll	本体アセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.dll	C1.Silverlight.Chart.5.dll	本体アセンブリ - Chart コンポーネント
	C1.Silverlight.Chart.Editor.5.dll	本体アセンブリ - Chart 編集コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.Extended.4.dll	C1.Silverlight.Chart.Extended.5.dll	本体アセンブリ - Chart 拡張コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.dll	C1.Silverlight.Chart3D.5.dll	本体アセンブリ - Chart3D コンポーネント
	C1.Silverlight.Data.5.dll	本体アセンブリ - Data コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.dll		本体アセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.dll	C1.Silverlight.DataGrid.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid コンポーネント
	C1.Silverlight.DataGrid.Analytics.5.dll	本体アセンブリ - Silverlight Analytics Framework 用コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Excel.4.dll	C1.Silverlight.DataGrid.Excel.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid Excel コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Filters.4.dll	C1.Silverlight.DataGrid.Filters.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
	C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid RIA Services 用コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Summaries.4.dll	C1.Silverlight.DataGrid.Summaries.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid 集計コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.dll	C1.Silverlight.DateTimeEditors.5.dll	本体アセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.dll	C1.Silverlight.Docking.5.dll	本体アセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Excel.4.dll	C1.Silverlight.Excel.5.dll	本体アセンブリ - Excel コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.dll	C1.Silverlight.Extended.5.dll	本体アセンブリ - 拡張コンポーネント
	C1.Silverlight.Extended.Analytics.5.dll	本体アセンブリ - Silverlight Analytics Framework 用コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.WPF.FlexGrid.4.dll	C1.Silverlight.FlexGrid.5.dll	本体アセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGridFilter.4.dll	C1.Silverlight.FlexGridFilter.5.dll	本体アセンブリ - FlexGrid フィルタリングコンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.dll	C1.SilverlightF.Gauge.5.dll	本体アセンブリ - Gauge コンポーネント
	C1.SilverlightF.Imaging.5.dll	本体アセンブリ - Imaging コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.dll	C1.Silverlight.Maps.5.dll	本体アセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.dll	C1.Silverlight.MediaPlayer.5.dll	本体アセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.dll	C1.Silverlight.Olap.5.dll	本体アセンブリ - Olap コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.dll	C1.Silverlight.OrgChart.5.dll	本体アセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.dll	C1.Silverlight.OutlookBar.5.dll	本体アセンブリ - OutlookBar コンポーネント
	C1.Silverlight.Pdf.5.dll	本体アセンブリ - Pdf コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.dll	C1.Silverlight.PdfViewer.5.dll	本体アセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.dll	C1.Silverlight.ReportViewer.5.dll	本体アセンブリ - ReportViewer コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.4.dll	本体アセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
	C1.Silverlight.RichTextBox.LegacyHtmlFilter.5.dll	本体アセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
	C1.Silverlight.RichTextBox.PdfFilter.5.dll	本体アセンブリ - RichTextBox フィルタリングコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.dll	本体アセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.dll	C1.Silverlight.Schedule.5.dll	本体アセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.WPF.SpellChecker.4.dll	C1.Silverlight.SpellChecker.5.dll	本体アセンブリ - SpellChecker コンポーネント
C1.WPF.Theming.4.dll	C1.Silverlight.Theming.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.BureauBlack.4.dll	C1.Silverlight.Theming.BureauBlack.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.C1Blue.4.dll		本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Cosmopolitan.4.dll	C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.WPF.Theming.CosmopolitanDark.4.dll	C1.Silverlight.Theming.CosmopolitanDark.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionDark.4.dll	C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionLight.4.dll	C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2007.4.dll	C1.Silverlight.Theming.Office2007.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2010.4.dll	C1.Silverlight.Theming.Office2010.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2013.4.dll	C1.Silverlight.Theming.Office2013.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.RainierOrange.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ShinyBlue.4.dll	C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.WhistlerBlue.4.dll	C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Tile.4.dll	C1.Silverlight.Tile.5.dll	本体アセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.dll	C1.Silverlight.TileView.5.dll	本体アセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.dll	C1.Silverlight.Toolbar.5.dll	本体アセンブリ - Toolbar コンポーネント
	C1.Silverlight.Uploader.5.dll	本体アセンブリ - Uploader コンポーネント
C1.WPF.Zip.4.dll	C1.Silverlight.Zip.5.dll	本体アセンブリ - Zip コンポーネント

 **注意:** 以下のファイルは開発環境のみに必要なファイルです。配布しないように注意してください。

WPF ファイル	Silverlight ファイル	説明
C1.WPF.4.Expression.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.5.Design.Common.dll	デザイナーアセンブリ - Expression コンポーネント
C1.WPF.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.5.visualstudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.Design.dll	C1.Silverlight.Chart.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.WPF.C1Chart.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Chart.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Chart コンポーネント
	C1.Silverlight.Chart.Editor.5.Design.dll	
C1.WPF.C1Chart.Extended.4.Design.dll	C1.Silverlight.Chart.Extended.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.Design.dll	C1.Silverlight.Chart3D.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Chart3D.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.Design.dll		デザイナアセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナアセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.Carousel.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.Carousel.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.WPF.Carousel.4.VisualStudio.Design.dll	C1.Silverlight.Carousel.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.Design.dll	C1.Silverlight.DataGrid.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.DataGrid.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Filters.4.Design.dll	C1.Silverlight.DataGrid.Filters.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
	C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - DataGrid

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

		フィルタリングコンポーネント
	C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Summaries.4.Design.dll	C1.Silverlight.DataGrid.Summaries.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid 集計コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.DateTimeEditors.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.DateTimeEditors.5 .VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナーアセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.Docking.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Docking.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - 拡張 コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.Extended.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張 コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Extended.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張 コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナーアセンブリ - 拡張 コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.4.Design.dll	C1.Silverlight.FlexGrid.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

		リ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.FlexGrid.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.GroupPanel.4.Design.dll	C1.Silverlight.FlexGrid.GroupPanel.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.GroupPanel.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.GroupPanel.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.FlexGrid.GroupPanel.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGridFilter.4.Design.dll	C1.Silverlight.FlexGridFilter.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.Gauge.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Gauge.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
	C1.Silverlight.Imaging.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Imaging コンポーネント
	C1.Silverlight.Imaging.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Imaging コンポーネント
C1.WPF.Legacy.4.Design.dll	C1.Silverlight.Legacy.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Legacy コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.Design.dll	C1.Silverlight.Maps.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Maps.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

		ポーネット
C1.WPF.MediaPlayer.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.MediaPlayer.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.MediaPlayer.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.Design.dll	C1.Silverlight.Olap.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - Olap コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Olap.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Olap コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.Design.dll	C1.Silverlight.OrgChart.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.OrgChart.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.Design.dll	C1.Silverlight.OutlookBar.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.OutlookBar.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.Design.dll	C1.Silverlight.PdfViewer.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.PdfViewer.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.Design.dll	C1.Silverlight.ReportViewer.5.Design.dll	デザイナアセンブリ - ReportViewerコ

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

		コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - ReportViewerコンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.ReportViewer.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - ReportViewerコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.Design.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.Design.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - Scheduleコンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.Expression.Design.dll	C1.Silverlight.Schedule.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Scheduleコンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Schedule.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Scheduleコンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.VisualStudio.Design.dll		デザイナーアセンブリ - Scheduleコンポーネント
C1.WPF.SpellChecker.4.Design.dll	C1.Silverlight.SpellChecker.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - SpellCheckerコンポーネント
C1.WPF.Theming.4.Design.dll		デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.BureauBlack.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.WPF.Theming.BureauBlack.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.BureauBlack.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.C1Blue.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Cosmopolitan.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.CosmopolitanDark.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.CosmopolitanDark.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.CosmopolitanDark.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionDark.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionLight.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.Office2007.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2007.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.Office2007.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.Office2010.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2010.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.Office2010.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.Office2013.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2013.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.Office2013.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.RainierOrange.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

		リ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.RainierOrange.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ShinyBlue.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
	C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.WhistlerBlue.4. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue.5. VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Tile.4.Design.dll	C1.Silverlight.Tile.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.Tile.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.Tile.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Tile.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.Design.dll	C1.Silverlight.TileView.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.TileView.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.Design.dll	C1.Silverlight.Toolbar.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.Expression.Design.4.0.3.dll		デザイナーアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	C1.Silverlight.Toolbar.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.4.resources.dll	C1.Silverlight.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 基本コンポーネント
	C1.Silverlight.Chart.Editor.5.resources.dll	本体アセンブリの

		サテライトリソース - 基本コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.resources.dll	C1.Silverlight.DataGrid.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Filters.4.resources.dll	C1.Silverlight.DataGrid.Filters.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
	C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.resources.dll	C1.Silverlight.Docking.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Docking コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.resources.dll	C1.Silverlight.Extended.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 拡張 コンポーネント
C1.WPF.FlexGridFilter.4.resources.dll	C1.Silverlight.FlexGridFilter.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.resources.dll	C1.Silverlight.MediaPlayer.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.resources.dll	C1.Silverlight.Olap.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Olap コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.resources.dll	C1.Silverlight.OutlookBar.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.resources.dll	C1.Silverlight.PdfViewer.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.resources.dll	C1.Silverlight.ReportViewer.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - ReportViewer コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.resources.dll	C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - RichTextBox

C1.WPF.Schedule.4.resources.dll	C1.Silverlight.Schedule.5.resources.dll	コンポーネント 本体アセンブリのサテライトリソース - Schedule コンポーネント
C1.WPF.SpellChecker.4.resources.dll	C1.Silverlight.SpellChecker.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - SpellChecker コンポーネント
	C1.Silverlight.Uploader.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - SpellChecker コンポーネント

コンポーネントのランタイムファイル

本製品を使用したアプリケーションを実行するには、実行環境に本製品のランタイムファイルが必要です。そのため、本製品を使用したアプリケーションを配布する場合、ランタイムファイルをアプリケーションと共に配布する必要があります。

ランタイムファイルの配布については、「ComponentOne 共通ヘルプ」の「[ランタイムファイルの配布について](#)」をご参照ください。


WPFのランタイムファイル

ComponentOne Studio for WPF のランタイムファイルは、次の通りです。

アセンブリファイル

WPF ファイル	説明
C1.WPF.4.dll	本体アセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.Binding.4.dll	本体アセンブリ - Binding コンポーネント
C1.WPF.Carousel.4.dll	本体アセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.dll	本体アセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.Extended.4.dll	本体アセンブリ - Chart 拡張コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.dll	本体アセンブリ - Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.dll	本体アセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.dll	本体アセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Excel.4.dll	本体アセンブリ - DataGrid Excel コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Filters.4.dll	本体アセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Summaries.4.dll	本体アセンブリ - DataGrid 集計コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.dll	本体アセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.dll	本体アセンブリ - Docking コンポーネント

C1.WPF.Excel.4.dll	本体アセンブリ - Excel コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.dll	本体アセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.4.dll	本体アセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGridFilter.4.dll	本体アセンブリ - FlexGrid フィルタリングコンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.dll	本体アセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.dll	本体アセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.dll	本体アセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.dll	本体アセンブリ - Olap コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.dll	本体アセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.dll	本体アセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.dll	本体アセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.dll	本体アセンブリ - ReportViewer コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.dll	本体アセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.dll	本体アセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.dll	本体アセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.WPF.SpellChecker.4.dll	本体アセンブリ - SpellChecker コンポーネント
C1.WPF.Theming.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.BureauBlack.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.C1Blue.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Cosmopolitan.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.CosmopolitanDark.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionDark.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionLight.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2007.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2010.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2013.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ShinyBlue.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.WhistlerBlue.4.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Tile.4.dll	本体アセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.dll	本体アセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.dll	本体アセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Zip.4.dll	本体アセンブリ - Zip コンポーネント

 **注意:** 以下のファイルは開発環境のみに必要なファイルです。配布しないように注意してください。

WPF ファイル	説明
C1.WPF.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Expression コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.WPF.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart.Extended.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Chart3D.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.C1Report.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Report コンポーネント
C1.WPF.Carousel.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.WPF.Carousel.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Filters.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Summaries.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid 集計コンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditorsコンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditorsコンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditorsコンポーネント
C1.WPF.DateTimeEditors.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditorsコンポーネント
C1.WPF.Docking.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Docking.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張コンポーネント

C1.WPF.FlexGrid.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.GroupPanel.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.GroupPanel.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGrid.GroupPanel.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.FlexGridFilter.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Gauge.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.WPF.Legacy.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Legacy コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.Maps.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.Expression.Design.dll	デザイナーアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナーアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Olap コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Olap コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OrgChart.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - ReportViewerコンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - ReportViewerコンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - ReportViewer コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.Design.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBox コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.WPF.RichTextBox.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.Design.dll	デザイナアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.Expression.Design.dll	デザイナアセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.VisualStudio.Design.dll	デザイナアセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.WPF.SpellChecker.4.Design.dll	デザイナアセンブリ - SpellChecker コンポーネント
C1.WPF.Theming.4.Design.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.BureauBlack.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.C1Blue.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Cosmopolitan.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.CosmopolitanDark.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionDark.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ExpressionLight.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2007.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2010.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.Office2013.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.ShinyBlue.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Theming.WhistlerBlue.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.WPF.Tile.4.Design.dll	デザイナアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.Tile.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.Tile.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.Design.dll	デザイナアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.TileView.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.Design.dll	デザイナアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.Expression.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.Toolbar.4.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.WPF.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 基本コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
C1.WPF.DataGrid.Filters.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント

C1.WPF.Docking.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Docking コンポーネント
C1.WPF.Extended.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 拡張 コンポーネント
C1.WPF.FlexGridFilter.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - FlexGrid コンポーネント
C1.WPF.MediaPlayer.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - MediaPlayer コンポーネント
C1.WPF.Olap.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Olap コンポーネント
C1.WPF.OutlookBar.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - OutlookBar コンポーネント
C1.WPF.PdfViewer.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - PdfViewer コンポーネント
C1.WPF.ReportViewer.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - ReportViewer コンポーネント
C1.WPF.RichTextBox.Toolbar.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - RichTextBox コンポーネント
C1.WPF.Schedule.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Schedule コンポーネント
C1.WPF.SpellChecker.4.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - SpellChecker コンポーネント

Silverlightのランタイムファイル

ComponentOne Studio for Silverlight のランタイムファイルは、次の通りです。


アセンブリファイル

Silverlight ファイル	説明
C1.Silverlight.5.dll	本体アセンブリ - 基本コンポーネント
C1.Silverlight.Analytics.5.dll	本体アセンブリ - Silverlight Analytics Framework 用コンポーネント
C1.Silverlight.Automation.5.dll	本体アセンブリ
C1.Silverlight.Binding.5.dll	本体アセンブリ - Binding コンポーネント
C1.Silverlight.Carousel.5.dll	本体アセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.5.dll	本体アセンブリ - Chart コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.Editor.5.dll	本体アセンブリ - Chart 編集コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.Extended.5.dll	本体アセンブリ - Chart 拡張コンポーネント
C1.Silverlight.Chart3D.5.dll	本体アセンブリ - Chart3D コンポーネント
C1.Silverlight.Data.5.dll	本体アセンブリ - Data コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.Silverlight.DataGrid.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Analytics.5.dll	本体アセンブリ - Silverlight Analytics Framework 用コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Excel.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid Excel コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Filters.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid RIA Services 用コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Summaries.5.dll	本体アセンブリ - DataGrid 集計コンポーネント
C1.Silverlight.DateTimeEditors.5.dll	本体アセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.Silverlight.Docking.5.dll	本体アセンブリ - Docking コンポーネント
C1.Silverlight.Excel.5.dll	本体アセンブリ - Excel コンポーネント
C1.Silverlight.Extended.5.dll	本体アセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.Silverlight.Extended.Analytics.5.dll	本体アセンブリ - Silverlight Analytics Framework 用コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGrid.5.dll	本体アセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGridFilter.5.dll	本体アセンブリ - FlexGrid フィルタリングコンポーネント
C1.Silverlight.Gauge.5.dll	本体アセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.Silverlight.Imaging.5.dll	本体アセンブリ - Imaging コンポーネント
C1.Silverlight.Maps.5.dll	本体アセンブリ - Maps コンポーネント
C1.Silverlight.MediaPlayer.5.dll	本体アセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.Silverlight.Olap.5.dll	本体アセンブリ - Olap コンポーネント
C1.Silverlight.OrgChart.5.dll	本体アセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.Silverlight.OutlookBar.5.dll	本体アセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.Silverlight.Pdf.5.dll	本体アセンブリ - Pdf コンポーネント
C1.Silverlight.PdfViewer.5.dll	本体アセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.Silverlight.ReportViewer.5.dll	本体アセンブリ - ReportViewer コンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.4.dll	本体アセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.LegacyHtmlFilter.5.dll	本体アセンブリ - RichTextBoxコンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.PdfFilter.5.dll	本体アセンブリ - RichTextBox フィルタリングコンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.dll	本体アセンブリ - RichTextBox Toolbar コンポーネント
C1.Silverlight.Schedule.5.dll	本体アセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.Silverlight.SpellChecker.5.dll	本体アセンブリ - SpellChecker コンポーネント
C1.Silverlight.Theming.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント

C1.Silverlight.Theming.BureauBlack.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.CosmopolitanDark.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2007.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2010.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2013.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.RainierOrange.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue.5.dll	本体アセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Tile.5.dll	本体アセンブリ - Tile コンポーネント
C1.Silverlight.TileView.5.dll	本体アセンブリ - TileView コンポーネント
C1.Silverlight.Toolbar.5.dll	本体アセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.Silverlight.Uploader.5.dll	本体アセンブリ - Uploader コンポーネント
C1.Silverlight.Zip.5.dll	本体アセンブリ - Zip コンポーネント

 **注意:** 以下のファイルは開発環境のみに必要なファイルです。配布しないように注意してください。

Silverlight ファイル	説明
C1.Silverlight.5.Design.Common.dll	デザイナーアセンブリ - 共通コンポーネント
C1.Silverlight.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.Silverlight.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 基本コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.5.visualstudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.Editor.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Chart 編集コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.Extended.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Chart コンポーネント
C1.Silverlight.Chart3D.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.Silverlight.Chart3D.5.visualstudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - C1Chart3D コンポーネント
C1.Silverlight.Carousel.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Carousel コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.Silverlight.Carousel.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Carousel コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Filters.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid フィルタリングコンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Summaries.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DataGrid 集計コンポーネント
C1.Silverlight.DateTimeEditors.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.Silverlight.DateTimeEditors.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - DateTimeEditors コンポーネント
C1.Silverlight.Docking.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.Silverlight.Docking.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Docking コンポーネント
C1.Silverlight.Extended.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.Silverlight.Extended.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - 拡張コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGrid.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGrid.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGrid.GroupPanel.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGrid.GroupPanel.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGridFilter.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.Gauge.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.Silverlight.Gauge.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Gauge コンポーネント
C1.Silverlight.Imaging.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Imaging コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.Silverlight.Imaging.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Imaging コンポーネント
C1.Silverlight.Legacy.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Legacy コンポーネント
C1.Silverlight.Maps.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.Silverlight.Maps.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Maps コンポーネント
C1.Silverlight.MediaPlayer.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.Silverlight.MediaPlayer.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - MediaPlayer コンポーネント
C1.Silverlight.Olap.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Olap コンポーネント
C1.Silverlight.Olap.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Olap コンポーネント
C1.Silverlight.OrgChart.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.Silverlight.OrgChart.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - OrgChart コンポーネント
C1.Silverlight.OutlookBar.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.Silverlight.OutlookBar.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - OutlookBar コンポーネント
C1.Silverlight.PdfViewer.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.Silverlight.PdfViewer.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - PdfViewer コンポーネント
C1.Silverlight.ReportViewer.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - ReportViewer コンポーネント
C1.Silverlight.ReportViewer.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - ReportViewer コンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - RichTextBox コンポーネント
C1.Silverlight.Schedule.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Schedule コンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.Silverlight.Schedule.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Schedule コンポーネント
C1.Silverlight.SpellChecker.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - SpellChecker コンポーネント
C1.Silverlight.Theming.BureauBlack.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.BureauBlack.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.CosmopolitanDark.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.CosmopolitanDark.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2007.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2007.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2010.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2010.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2013.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.Office2013.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.RainierOrange.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.RainierOrange.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - テーマコンポーネント
C1.Silverlight.Tile.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.Silverlight.Tile.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Tile コンポーネント
C1.Silverlight.TileView.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.Silverlight.TileView.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - TileView コンポーネント
C1.Silverlight.Toolbar.5.Design.dll	デザイナーアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.Silverlight.Toolbar.5.VisualStudio.Design.4.0.3.dll	デザイナーアセンブリ - Toolbar コンポーネント
C1.Silverlight.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 基本コンポーネント
C1.Silverlight.Chart.Editor.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 基本コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Filters.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
C1.Silverlight.DataGrid.Ria.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - DataGrid コンポーネント
C1.Silverlight.Docking.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Docking コンポーネント
C1.Silverlight.Extended.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - 拡張 コンポーネント
C1.Silverlight.FlexGridFilter.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - FlexGrid コンポーネント
C1.Silverlight.MediaPlayer.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - MediaPlayer コンポーネント
C1.Silverlight.Olap.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Olap コンポーネント
C1.Silverlight.OutlookBar.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - OutlookBar コンポーネント
C1.Silverlight.PdfViewer.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - PdfViewer コンポーネント

C1.Silverlight.ReportViewer.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - ReportViewer コンポーネント
C1.Silverlight.RichTextBox.Toolbar.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - RichTextBox コンポーネント
C1.Silverlight.Schedule.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - Schedule コンポーネント
C1.Silverlight.SpellChecker.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - SpellChecker コンポーネント
C1.Silverlight.Uploader.5.resources.dll	本体アセンブリのサテライトリソース - SpellChecker コンポーネント

テーマ

何らかの XAML ベースのプラットフォームを使用する主な利点の1つとして、コントロールのスタイルやテンプレートを変更できる機能が挙げられます。コントロールは、自由にカスタマイズでき、「外観のない」ユーザーインターフェースであり、組み込みテーマおよびカスタムテーマを使用することができます。テーマを使用することで、コントロールの外観をカスタマイズしたり、XAML ベースのスタイル設定を活用することができます。次のトピックでは、ComponentOne Themes を使ってコントロールのスタイルを設定する方法について説明します。

WPF および Microsoft Silverlight のコントロールをカスタマイズするには、コントロールのテンプレートとスタイルを作成および変更します。この結果、アプリケーションの外観に独自性と一貫性を持たせることができます。

テンプレートとスタイルにより、コントロールを構成する項目とコントロールのデフォルトの動作がそれぞれ定義されます。テンプレートとスタイルを作成するには、コントロールの元のスタイルとテンプレートのコピーを作成します。テンプレートとスタイルを変更することで、コードを使用しなくても、Microsoft Expression Blend または Visual Studio のデザインビューで新しいコントロールを簡単に作成することができます。次のトピックでは、スタイルとテンプレートを詳細に比較します。これらの内容を理解することにより、コントロールのスタイルとテンプレートのどちらを変更するか、またはその両方を変更するかを判断できます。また、次のトピックでは、ComponentOne Studio for WPF および Silverlight で使用可能な組み込みテーマについても説明しています。

使用可能なテーマ

用意されているテーマは、Microsoft Office、Expression Blend、Silverlight ツールキットテーマのほか、Modern UI からヒントを得たものです。テーマには、次のものがあります。

- BureauBlack
- C1Blue(WPFのみ)
- Cosmopolitan
- CosmopolitanDark
- ExpressionDark
- ExpressionLight
- Office2007(青、黒、シルバー)
- Office2010(青、黒、シルバー)
- Office2013(白、明るい灰色、暗い灰色)
- RainierOrange(Silverlightのみ)
- ShinyBlue
- WhistlerBlue

各テーマは、ベースの ComponentOne Theming ライブラリ(C1.WPF.Theming または C1.Silverlight.Theming)に依存しています。

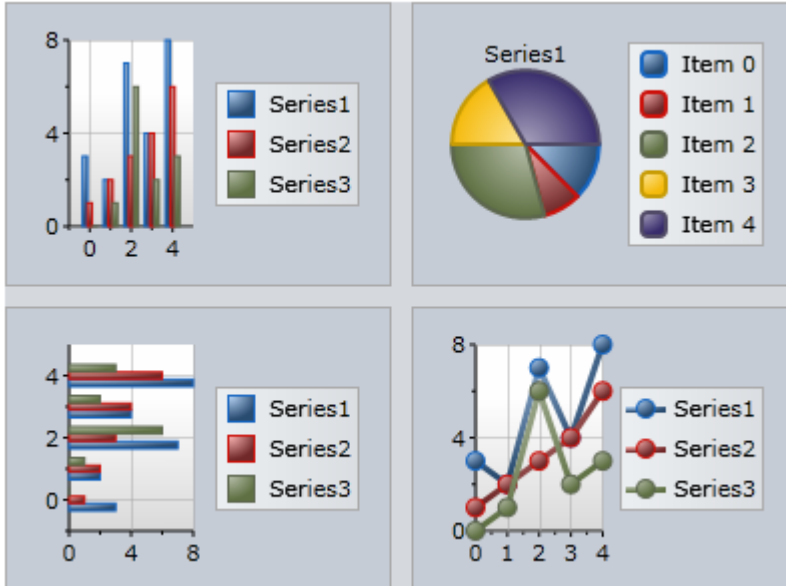


メモ: [C1Blue]テーマは ComponentOne Studio for WPF の場合のみ、[RainierOrange]テーマは ComponentOne

Studio for Silverlight の場合のみ提供されています。

BureauBlack

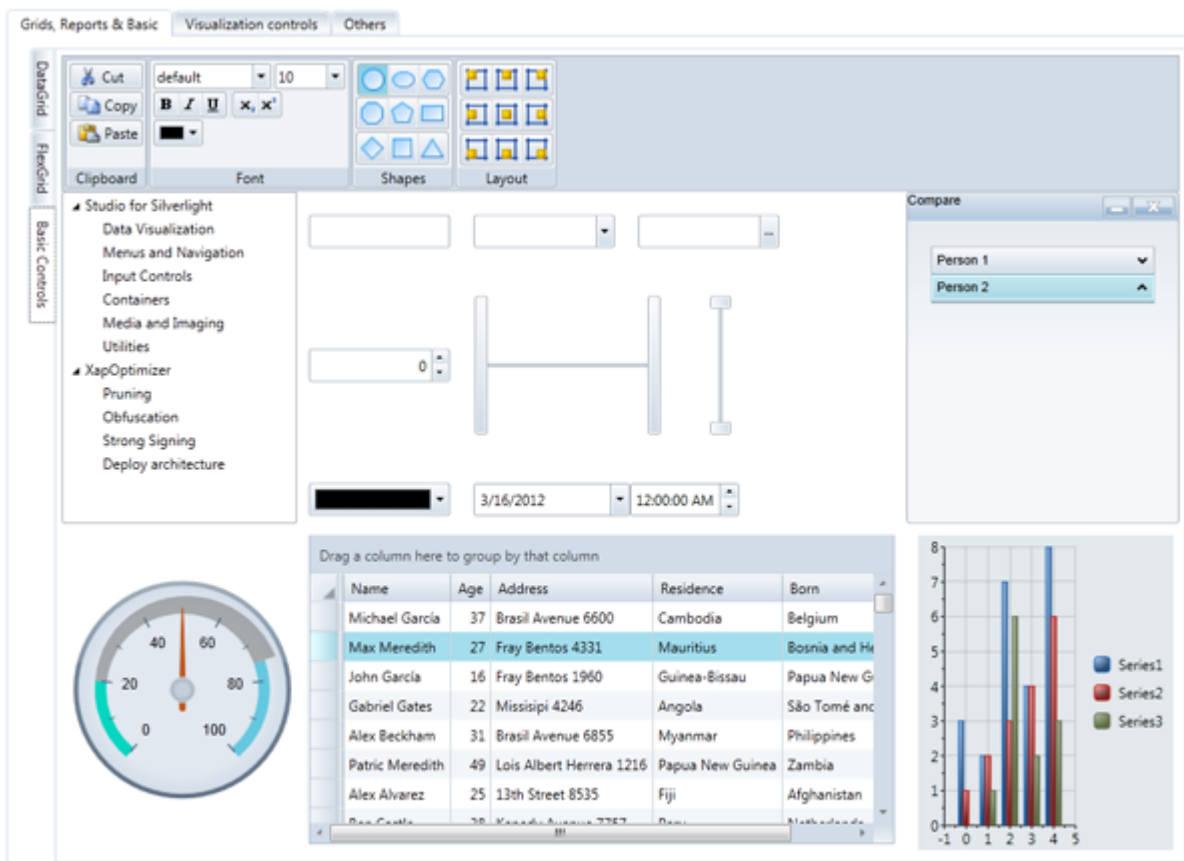
BureauBlack テーマは、WPF Toolkit に含まれている Microsoft Bureau Black テーマに似た濃い色のテーマです。



C1Blue(WPFのみ)

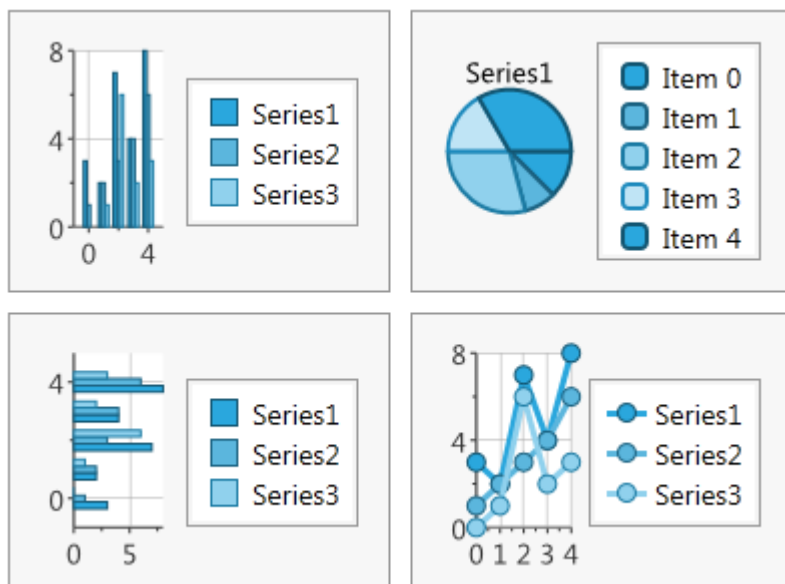
ComponentOne Blue (C1Blue) テーマは、デフォルトの **Studio for Silverlight** テーマに基づいて派生した WPF テーマです。これは、**Silverlight** から **WPF** に移行したユーザーのうち、Silverlight Blue テーマを維持したいユーザー向けに提供されています。

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

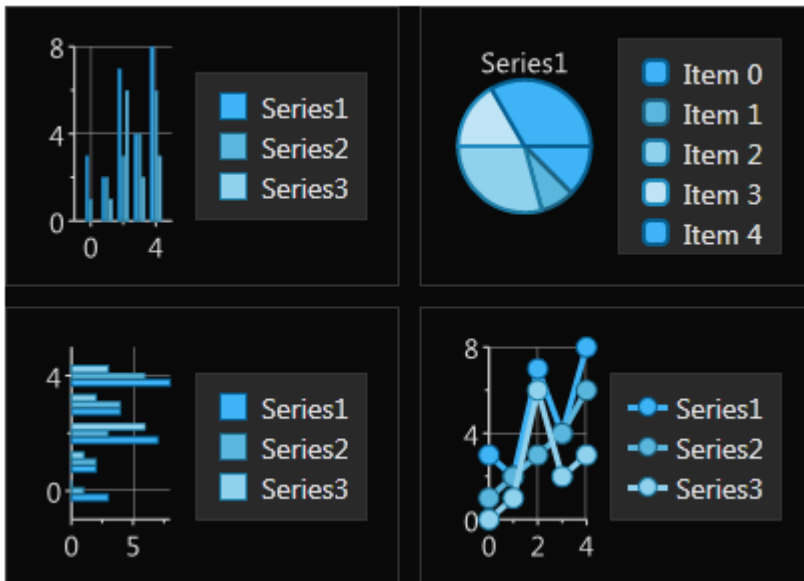


CosmopolitanとCosmopolitanDark

Cosmopolitan テーマと **CosmopolitanDark** テーマは、Microsoft Cosmopolitan テーマに基づくモダンでクリーンな UI テーマです。

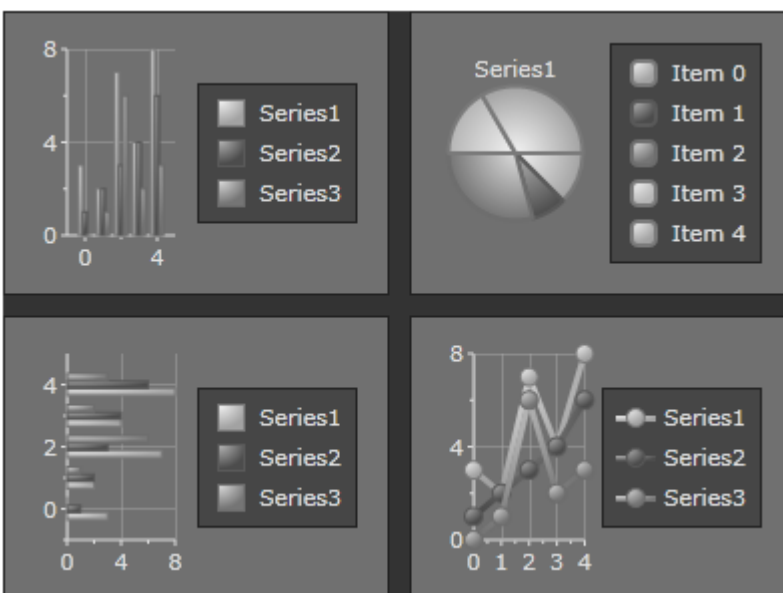


CosmopolitanDark

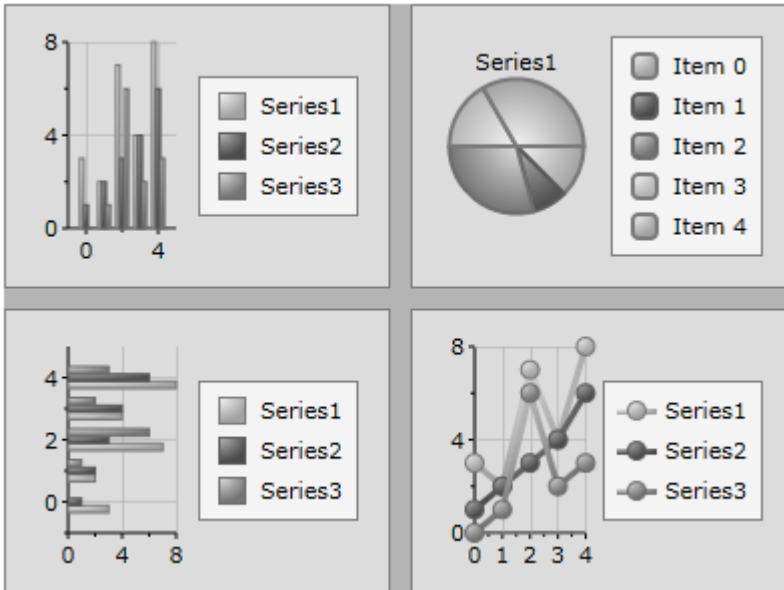


ExpressionDarkとExpressionLight

ExpressionDark テーマは、Microsoft Expression Blend テーマに基づくグレースケールテーマです。同じテーマに濃い色と薄い色のバージョンがあります。



ExpressionLight



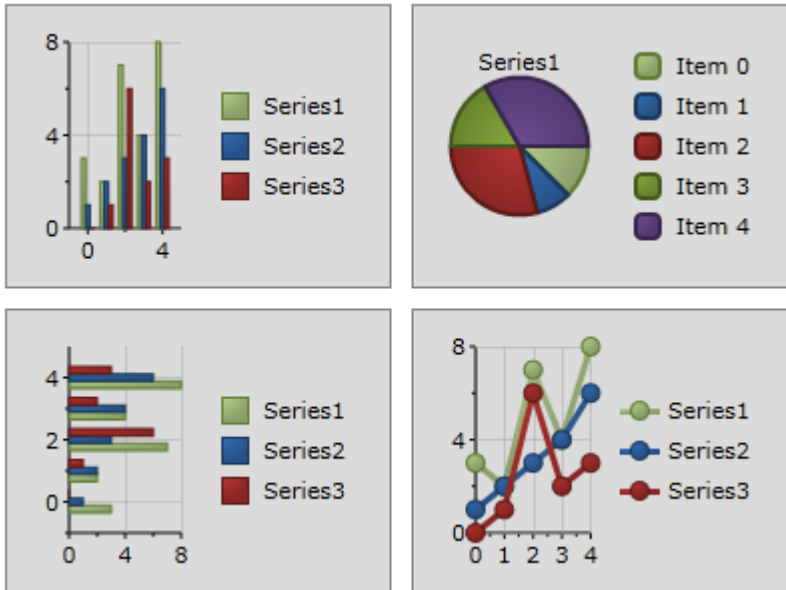
Office2007

Office2007 テーマは、Microsoft Office 2007 のテーマに基づいており、青、黒、およびシルバーの3種類があります。以下の図に、3種類の Office 2007 テーマ、**C1ThemeOffice2007Blue**、**C1ThemeOffice2007Black**、および **C1ThemeOffice2007Silver** を例示します。

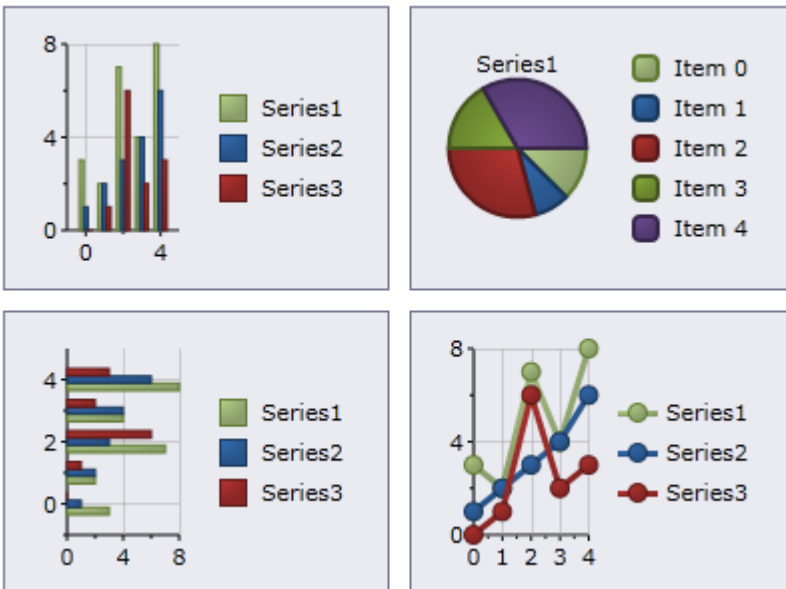
C1ThemeOffice2007Blue



C1ThemeOffice2007Black



C1ThemeOffice2007Silver

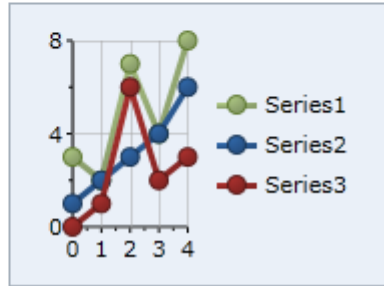
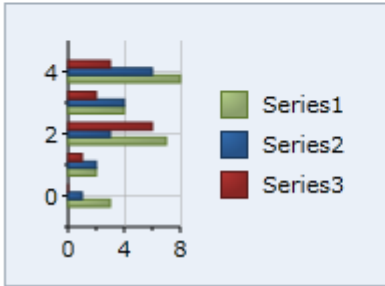
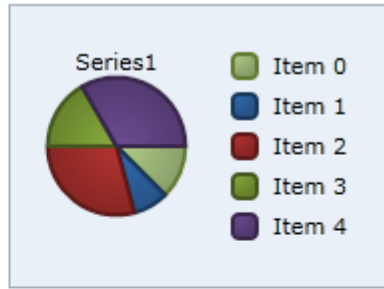
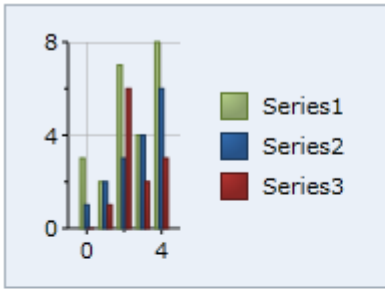


Office2010

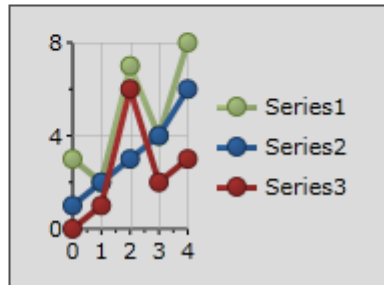
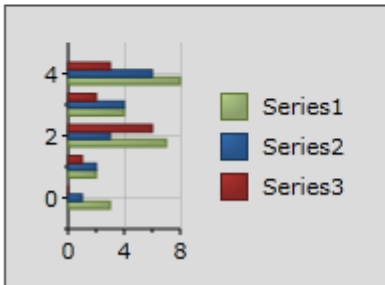
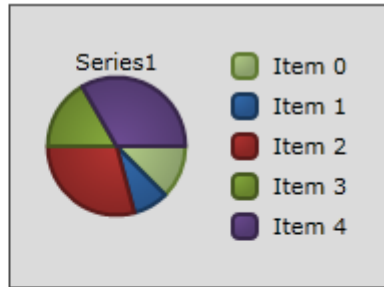
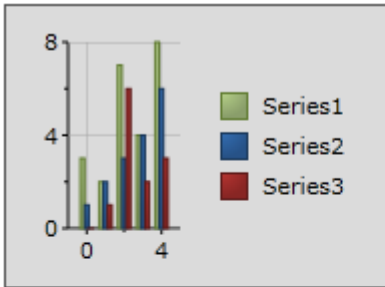
Office2010 テーマは、Microsoft Office 2010 のテーマに基づいており、青、黒、およびシルバーの3種類があります。以下の図に、3種類の Office 2010 テーマ、C1ThemeOffice2010Blue、C1ThemeOffice2010Black、および C1ThemeOffice2010Silver を例示します。

C1ThemeOffice2010Blue

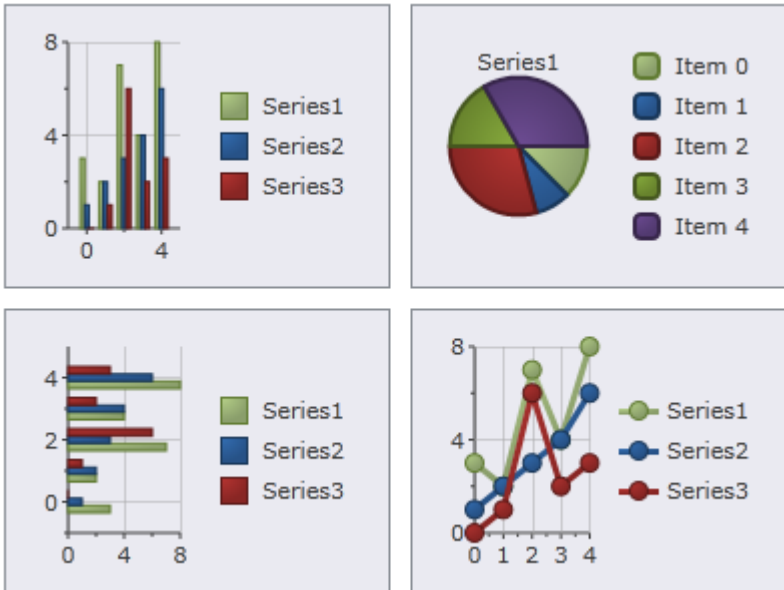
ComponentOne Studio for WPF/Silverlight



C1ThemeOffice2010Black



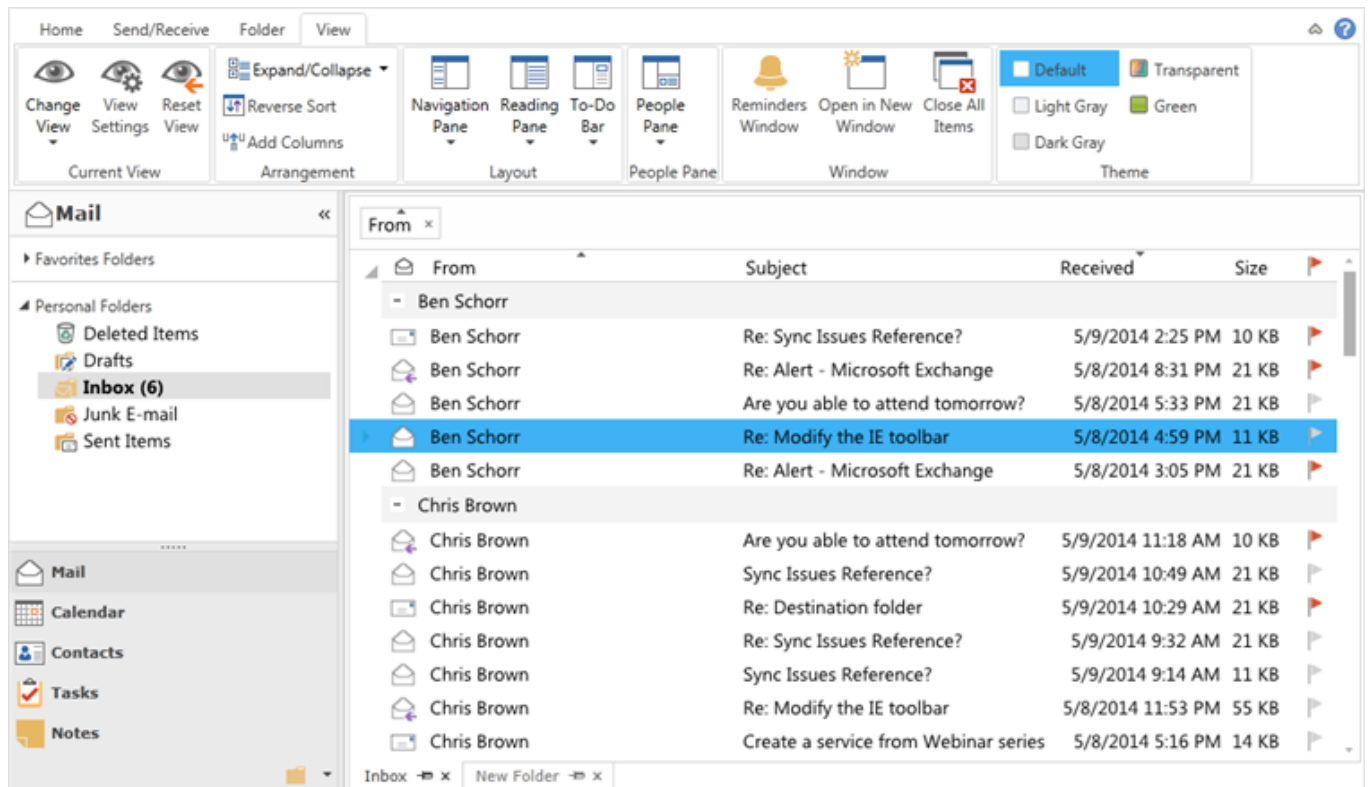
C1ThemeOffice2010Silver



Office2013

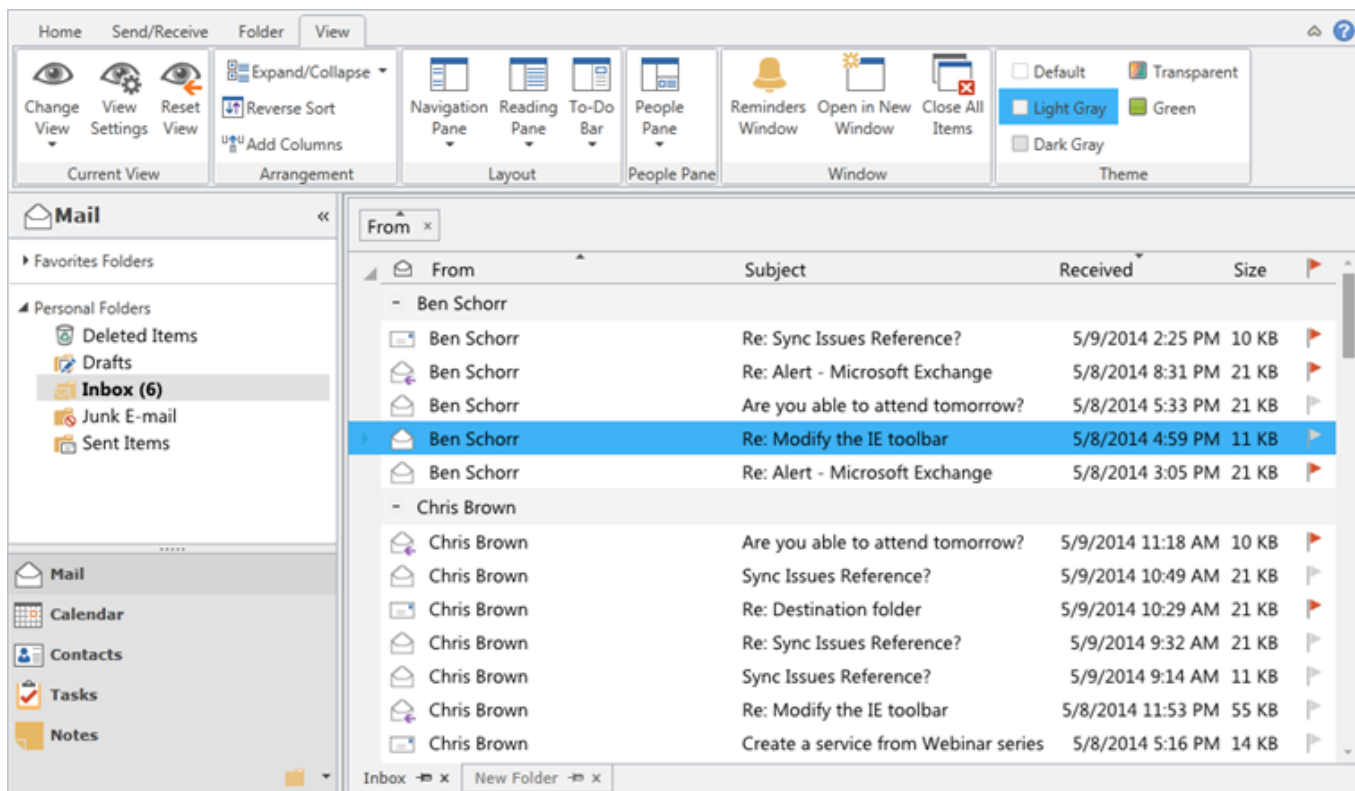
Office2013 テーマは、Microsoft Office 2013 のテーマに基づいており、白、薄い灰色、および濃い灰色の3種類があります。Office2013 テーマには、**C1ThemeOffice2013White**、**C1ThemeOffice2013LightGray**、および **C1ThemeOffice2013DarkGray** の各テーマが含まれます。

C1ThemeOffice2013White

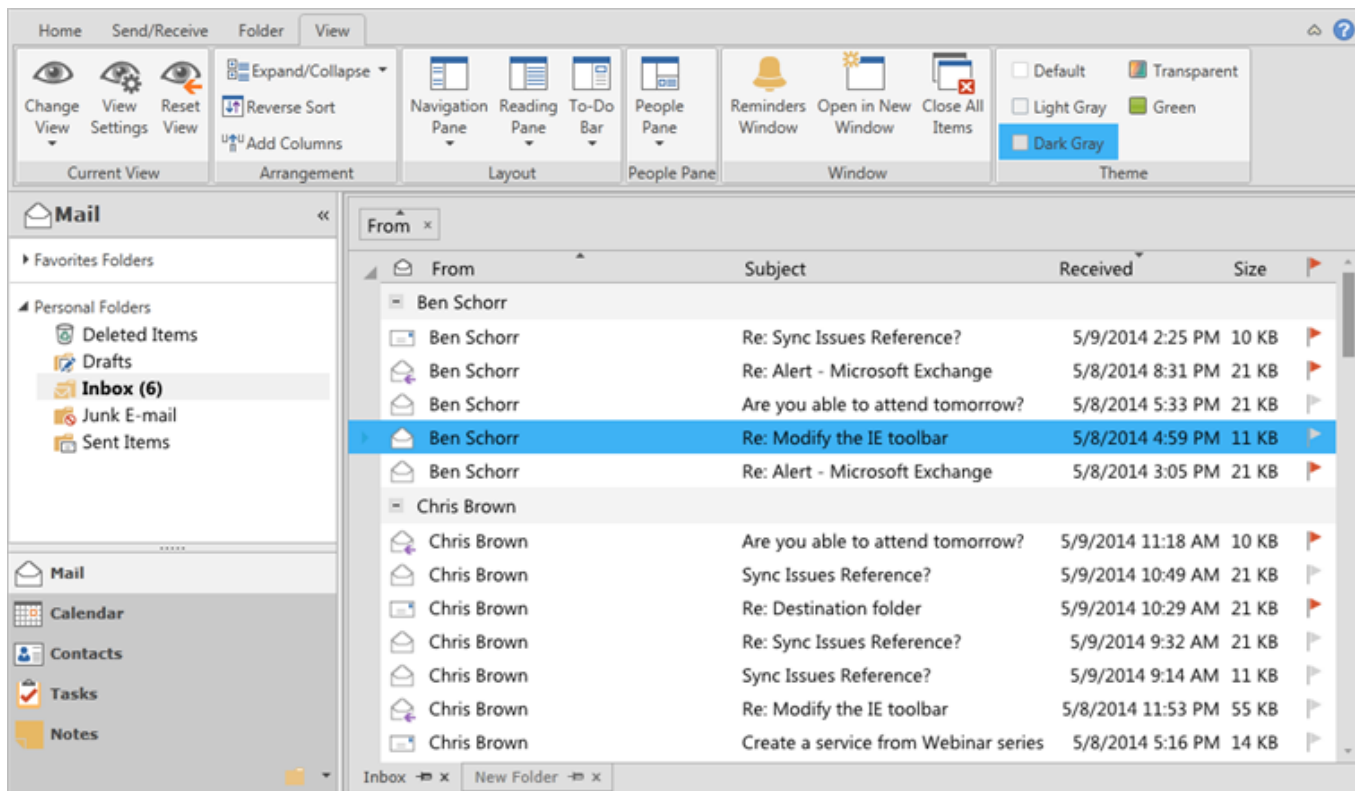


C1ThemeOffice2013LightGray

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

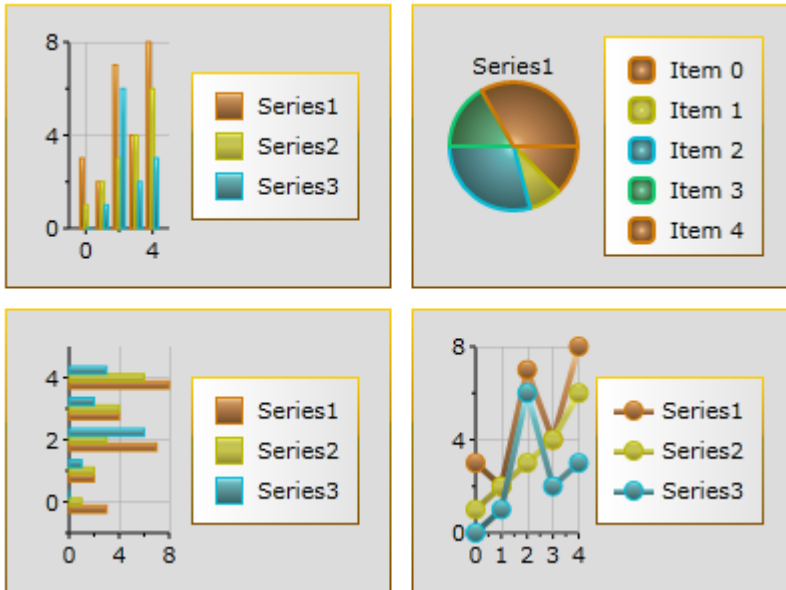


C1ThemeOffice2013DarkGray



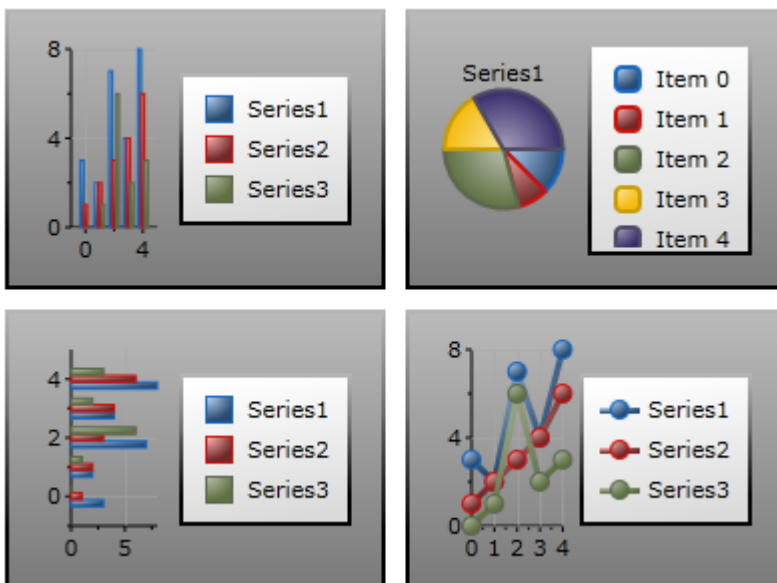
RainierOrange(Silverlightのみ)

RainierOrange テーマは、Silverlight Toolkit に含まれている Microsoft Rainier Orange テーマに似たオレンジベースのテーマです。Chart コントロールに適用した RainierOrange テーマは次のように表示されます。



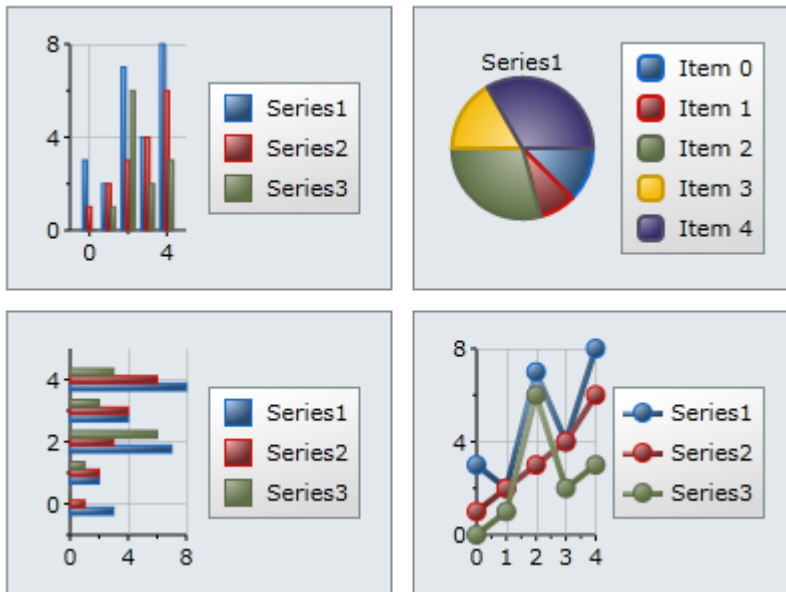
ShinyBlue

ShinyBlue テーマは、Silverlight Toolkit に含まれている Microsoft Shiny Blue テーマに似た青ベースのテーマです。



WhistlerBlue

WhistlerBlue テーマは、Silverlight Toolkit に含まれている Microsoft Whistler Blue テーマに似た青ベースのテーマです。WhistlerBlue テーマを ComponentOne Studio for **WPF** のチャートコントロールに適用すると、次のようになります。



カスタムテーマ

組み込みテーマの1つを使用するだけでなく、何もない状態から独自のカスタムテーマを作成したり、既存の組み込みテーマに基づいてカスタムテーマを作成することもできます。テーマの作成時に基礎として使用できる付属ファイルについては、「[付属の XAML ファイル](#)」を参照してください。

付属の XAML ファイル

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight をインストールすると、いくつかの補助 XAML 要素が同時にインストールされます。これらの要素にはテンプレートやテーマが含まれており、**Studio for WPF/Silverlight** インストールディレクトリに格納されています。これらの要素をプロジェクトに組み込んで、たとえば、付属のテーマに基づく独自のテーマを作成できます。

Studio for Silverlight の場合は、デフォルトでは、これらのファイルは <インストールフォルダ>\Misc\Xaml\Silverlight フォルダ内の **generics.zip** ファイルに格納されています。generics.zip ファイルを任意のフォルダに展開すると、ComponentOne Studio for Silverlight コントロールに関連付けられているすべての XAML ファイルを確認できます。以下のトピックでは、収録されるファイルがアセンブリごとにリストされ、generics.zip ファイル内で各ファイルが配置されるフォルダの場所が表示されます。

Silverlight 4.0、Silverlight 5.0 の XAML ファイルは名前の付け方が異なります。たとえば、同じ generic.xaml ファイルがそれぞれ次の命名規則に従います。

プラットフォーム	名前
Silverlight 4.0	generic.xaml
Silverlight 5.0	generic_SL5rd.xaml

以下のトピックでは、WPF版およびSilverlight版でのファイル名を示します。

WPFのXAMLファイル

C1.WPF

次の XAML ファイルを使用して、**C1.Silverlight** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
Common.xaml	C1.WPF\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
C1Button.xaml	C1.WPF\themes	C1Button の属性を指定します。
C1ComboBox.xaml	C1.WPF\themes	C1ComboBox の属性を指定します。
C1DateTimePicker.xaml	C1.WPF\themes	C1DateTimePicker の属性を指定します。
C1DropDown.xaml	C1.WPF\themes	C1DropDown の属性を指定します。
C1FilePicker.xaml	C1.WPF\themes	C1FilePicker の属性を指定します。
C1HeaderContentControl.xaml	C1.WPF\themes	C1HeaderContentControl の属性を指定します。
C1HyperlinkButton.xaml	C1.WPF\themes	C1HyperlinkButton の属性を指定します。
C1LayoutTransformer.xaml	C1.WPF\themes	C1LayoutTransformer の属性を指定します。
C1ListBox.xaml	C1.WPF\themes	C1ListBox の属性を指定します。
C1Menu.xaml	C1.WPF\themes	C1Menu の属性を指定します。
C1NumericBox.xaml	C1.WPF\themes	C1NumericBox の属性を指定します。
C1ProgressBar.xaml	C1.WPF\themes	C1ProgressBar の属性を指定します。
C1RadialMenu.xaml	C1.WPF\themes	C1RadialMenu の属性を指定します。
C1RangeSlider.xaml	C1.WPF\themes	C1RangeSlider の属性を指定します。
C1ScrollBar.xaml	C1.WPF\themes	C1ScrollBar の属性を指定します。
C1ScrollViewer.xaml	C1.WPF\themes	C1ScrollViewer の属性を指定します。
C1Separator.xaml	C1.WPF\themes	C1Separator の属性を指定します。
C1TabControl.xaml	C1.WPF\themes	C1TabControl の属性を指定します。
C1TextBoxBase.xaml	C1.WPF\themes	C1TextBoxBase の属性を指定します。
C1TextEditableContentControl.xaml	C1.WPF\themes	C1TextEditableContentControl の属性を指定します。
C1TreeView.xaml	C1.WPF\themes	C1TreeView の属性を指定します。
C1ValidationDecorator.xaml	C1.WPF\themes	C1ValidationDecorator の属性を指定します。
C1Window.xaml	C1.WPF\themes	C1Window の属性を指定します。

C1.WPF.Chart

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Chart** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Chart\themes	チャートのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
DuskBlue.xaml	C1.WPF.Chart\themes	DuskBlue テーマの属性を指定します。

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

DuskGreen.xaml	C1.WPF.Chart\themes	DuskGreen テーマの属性を指定します。
Legend.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Legend テーマの属性を指定します。
MediaPlayer.xaml	C1.WPF.Chart\themes	MediaPlayer テーマの属性を指定します。
Office2003Blue.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2003Blue テーマの属性を指定します。
Office2003Classic.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2003Classic テーマの属性を指定します。
Office2003Olive.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2003Olive テーマの属性を指定します。
Office2003Royale.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2003Royale テーマの属性を指定します。
Office2003Silver.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2003Silver テーマの属性を指定します。
Office2007Black.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2007Black テーマの属性を指定します。
Office2007Blue.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2007Blue テーマの属性を指定します。
Office2007Silver.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Office2007Silver テーマの属性を指定します。
Vista.xaml	C1.WPF.Chart\themes	Vista テーマの属性を指定します。

C1.WPF.Chart3D

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Chart3D** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Chart3D\themes	チャートのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Carousel

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Carousel** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Carousel\themes	Carousel のさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.DataGrid

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.DataGrid** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	DataGrid のさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
Common.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
DataGridCellPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
DataGridColumnHeaderPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	列ヘッダープレゼンタの属性を指定しま

		す。
DataGridDetailsPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	データ詳細プレゼンタの属性を指定します。
DataGridDragNDrop.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	グリッドのドラッグアンドドロップ操作の属性を指定します。
DataGridFilter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	グリッドのフィルタ処理の属性を指定します。
DataGridGroupingPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	グループ化プレゼンタの属性を指定します。
DataGridRowHeaderPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	行ヘッダーの属性を指定します。
DataGridRowPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	行プレゼンタの属性を指定します。
DataGridVerticalFreezingSeparatorPresenter.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	フリーズセパレータの属性を指定します。

C1.WPF.DataGridFilters

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.DataGridFilters** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.DataGridFilters\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.DataGridSummaries

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.DataGridSummaries** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.DataGrid\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.DataSource

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.DataSource** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.DataSources\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

WPF.DateTimeEditors

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.DateTimeEditors** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.DateTimeEditors\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

トを指定します。

C1.WPF.Docking

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Docking** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Docking\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Excel

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Excel** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Excel\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Extended

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Extended** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Extended\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
C1Accordion.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1Accordion の属性を指定します。
C1Book.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1Book の属性を指定します。
C1ColorPicker.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1ColorPicker の属性を指定します。
C1CoverFlow.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1CoverFlow の属性を指定します。
C1Expander.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1Expander の属性を指定します。
C1PropertyGrid.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1PropertyGrid の属性を指定します。
C1Reflector.xaml	C1.WPF.Extended\themes	C1Reflector の属性を指定します。

C1.WPF.FlexGrid

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.FlexGrid** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.FlexGrid\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.FlexGrid.Filter

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.FlexGrid.Filter** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.FlexGrid.Filter\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Gauge

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Gauge** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Gauge\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Imaging

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Imaging** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Imaging\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Legacy

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Legacy** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Legacy\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Maps

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Maps** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Maps\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.MediaPlayer

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.MediaPlayer** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.MediaPlayer\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを

指定します。

C1.WPF.Olap

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Olap** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Olap\themes	Olap のさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.OrgChart

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.OrgChart** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.OrgChart\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.OutlookBar

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.OutlookBar** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.PdfViewer

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.PdfViewer** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.PdfViewer\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.ReportViewer

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.ReportViewer** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.ReportViewer\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.RichTextBox

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.RichTextBox** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.RichTextBox\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.RichTextBox.Toolbar

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.RichTextBox.Toolbar** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.RichTextBox.Toolbar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Schedule

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Schedule** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Schedule\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.SpellChecker

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.SpellChecker** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.SpellChecker\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.TileView

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.TileView** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.TileView\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.WPF.Toolbar

次の XAML ファイルを使用して、**C1.WPF.Toolbar** アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.WPF.Toolbar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

SilverlightのXAMLファイル

C1.Silverlight

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
Common.xaml	C1.Silverlight\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
C1Button.xaml	C1.Silverlight\themes	C1Button の属性を指定します。
C1ComboBox.xaml	C1.Silverlight\themes	C1ComboBox の属性を指定します。
C1DropDown.xaml	C1.Silverlight\themes	C1DropDown の属性を指定します。
C1FilePicker.xaml	C1.Silverlight\themes	C1FilePicker の属性を指定します。
C1HeaderedContentControl.xaml	C1.Silverlight\themes	C1HeaderedContentControl の属性を指定します。
C1LayoutTransformer.xaml	C1.Silverlight\themes	C1LayoutTransformer の属性を指定します。
C1Menu.xaml	C1.Silverlight\themes	C1Menu の属性を指定します。
C1NumericBox.xaml	C1.Silverlight\themes	C1NumericBox の属性を指定します。
C1RangeSlider.xaml	C1.Silverlight\themes	C1RangeSlider の属性を指定します。
C1ScrollBar.xaml	C1.Silverlight\themes	C1ScrollBar の属性を指定します。
C1ScrollViewer.xaml	C1.Silverlight\themes	C1ScrollViewer の属性を指定します。
C1Separator.xaml	C1.Silverlight\themes	C1Separator の属性を指定します。
C1TabControl.xaml	C1.Silverlight\themes	C1TabControl の属性を指定します。
C1TextBoxBase.xaml	C1.Silverlight\themes	C1TextBoxBase の属性を指定します。
C1TextEditableContentControl.xaml	C1.Silverlight\themes	C1TextEditableContentControl の属性を指定します。
C1TreeView.xaml	C1.Silverlight\themes	C1TreeView の属性を指定します。
C1ValidationDecorator.xaml	C1.Silverlight\themes	C1ValidationDecorator の属性を指定します。
generic.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	コントロールの Metro テーマのテンプレートを指定します。
Common.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
C1Button.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1Button の Metro テーマの属性を指定します。

C1ComboBox.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1ComboBox の Metro テーマの属性を指定します。
C1DropDown.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1DropDown の Metro テーマの属性を指定します。
C1FilePicker.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1FilePicker の Metro テーマの属性を指定します。
C1HeaderedContentControl.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1HeaderedContentControl の Metro テーマの属性を指定します。
C1LayoutTransformer.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1LayoutTransformer の Metro テーマの属性を指定します。
C1Menu.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1Menu の Metro テーマの属性を指定します。
C1NumericBox.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1NumericBox の Metro テーマの属性を指定します。
C1RangeSlider.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1RangeSlider の Metro テーマの属性を指定します。
C1ScrollBar.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1ScrollBar の Metro テーマの属性を指定します。
C1ScrollViewer.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1ScrollViewer の Metro テーマの属性を指定します。
C1TabControl.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1TabControl の Metro テーマの属性を指定します。
C1TextBoxBase.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1TextBoxBase の Metro テーマの属性を指定します。
C1TextEditableContentControl.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1TextEditableContentControl の Metro テーマの属性を指定します。
C1TreeView.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1TreeView の Metro テーマの属性を指定します。
C1ValidationDecorator.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1ValidationDecorator の Metro テーマの属性を指定します。
C1Window.Metro.xaml	\C1.Silverlight\Phone\themes	C1Window の Metro テーマの属性を指定します。

C1.Silverlight.Chart

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Chart アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Chart\Phone\themes	コントロールの Metro テーマのテンプレートを指定します。
DuskBlue.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	DuskBlue テーマの属性を指定します。
DuskGreen.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	DuskGreen テーマの属性を指定します。

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

MediaPlayer.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	MediaPlayer テーマの属性を指定します。
Office2003Blue.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2003Blue テーマの属性を指定します。
Office2003Classic.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2003Classic テーマの属性を指定します。
Office2003Olive.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2003Olive テーマの属性を指定します。
Office2003Royale.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2003Royale テーマの属性を指定します。
Office2003Silver.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2003Silver テーマの属性を指定します。
Office2007Black.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2007Black テーマの属性を指定します。
Office2007Blue.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2007Blue テーマの属性を指定します。
Office2007Silver.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Office2007Silver テーマの属性を指定します。
Vista.xaml	C1.Silverlight.Chart\ThemesSL	Vista テーマの属性を指定します。

C1.Silverlight.Chart3D

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Chart3D アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Chart3D\themes	チャートのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Chart.Editor

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Chart.Editor アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
AxisEditor.xaml	C1.Silverlight.Chart.Editor	軸エディタの属性を指定します。
ChartEditor.xaml	C1.Silverlight.Chart.Editor	チャートエディタの属性を指定します。
DataLabelEditor.xaml	C1.Silverlight.Chart.Editor	データラベルエディタの属性を指定します。
LegendEditor.xaml	C1.Silverlight.Chart.Editor	凡例エディタの属性を指定します。
DashesEditor.xaml	C1.Silverlight.Chart.Editor\AuxControls	破線エディタの属性を指定します。
PropertyEditor.xaml	C1.Silverlight.Chart.Editor\PropertyEditors	プロパティエディタの属性を指定します。

C1.Silverlight.DataGrid

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.DataGrid アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

Common.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
DataGridCellPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	コントロールの共通要素の属性を指定します。
DataGridColumnHeaderPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	列ヘッダープレゼンタの属性を指定します。
DataGridDetailsPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	データ詳細プレゼンタの属性を指定します。
DataGridDragNDrop.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	グリッドのドラッグアンドドロップ操作の属性を指定します。
DataGridFilter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	グリッドのフィルタ処理の属性を指定します。
DataGridGroupingPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	グループ化プレゼンタの属性を指定します。
DataGridRowHeaderPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	行ヘッダープレゼンタの属性を指定します。
DataGridRowPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	行プレゼンタの属性を指定します。
DataGridVerticalFreezingSeparatorPresenter.xaml	C1.Silverlight.DataGrid\themes	フリーズセパレータプレゼンタの属性を指定します。

C1.Silverlight.DataGrid.Filters

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.DataGrid.Filters アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.DataGrid.Filters\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.DataGrid.Ria

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.DataGrid.Ria アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.DataGrid.Ria\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.DataGrid.Summaries

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.DataGrid.Summaries アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.DataGrid.Summaries\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

トを指定します。

C1.Silverlight.DateTimeEditors

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.DateTimeEditors アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.DateTimeEditors\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Docking

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Docking アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Docking\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Extended

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Extended アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
C1Accordion.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1Accordion の属性を指定します。
C1Book.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1Book の属性を指定します。
C1ColorPicker.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1ColorPicker の属性を指定します。
C1CoverFlow.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1CoverFlow の属性を指定します。
C1Expander.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1Expander の属性を指定します。
C1PropertyGrid.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1PropertyGrid の属性を指定します。
C1Reflector.xaml	C1.Silverlight.Extended\themes	C1Reflector の属性を指定します。
generic.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	コントロールの Metro テーマのテンプレートを指定します。
C1Accordion.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1Accordion の Metro テーマの属性を指定します。
C1Book.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1Book の Metro テーマの属性を指定します。
C1ColorPicker.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1ColorPicker の Metro テーマの属性を指定します。
C1CoverFlow.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1CoverFlow の Metro テーマの属性を指定します。

		す。
C1Expander.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1Expander の Metro テーマの属性を指定します。
C1PropertyGrid.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1PropertyGrid の Metro テーマの属性を指定します。
C1Reflector.xaml	C1.Silverlight.Extended\Phone\Themes	C1Reflector の Metro テーマの属性を指定します。

C1.Silverlight.FlexGrid

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.FlexGrid アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.FlexGrid\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.FlexGrid.Filter

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.FlexGrid.Filter アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.FlexGrid.Filter\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Gauge

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Gauge アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Gauge\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Imaging

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Imaging アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Imaging\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.MediaPlayer

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.MediaPlayer アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

--	--	--

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.MediaPlayer\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.OrgChart

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.OrgChart アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.OrgChart\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.OutlookBar

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.OutlookBar アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
OutlookBar2007.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
OutlookBar2007Black.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
OutlookBar2007Silver.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
OutlookBar2010.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
OutlookBar2010Black.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
OutlookBar2010Silver.xaml	C1.Silverlight.OutlookBar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.PdfViewer

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.PdfViewer アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.PdfViewer\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.ReportViewer

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.ReportViewer アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.ReportViewer\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Schedule

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Schedule アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
EditAppointmentControl.Silverlight.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	予定を編集するための属性を指定します。
EditCollectionControl.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	コレクションを編集するための属性を指定します。
EditRecurrenceControl.Silverlight.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	予定の繰り返しを編集するための属性を指定します。
RecChoiceControl.Silverlight.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	繰り返しを選択するための属性を指定します。
SelectFromListScene.Silverlight.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	リソースの属性をリストから指定します。
SelectFromListScene.WPF.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	リソースの属性をリストから指定します。
ShowRemindersControl.Silverlight.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	スケジュールアラームの属性を指定します。
generic.xaml	C1.Silverlight.Schedule\Dialogs	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
Auxiliary.xaml	C1.Silverlight.Schedule\themes	コントロールの補助要素の属性を指定します。
C1Calendar.xaml	C1.Silverlight.Schedule\themes	C1Calendar の属性を指定します。
C1SchedulerParts.xaml	C1.Silverlight.Schedule\themes	スケジューラのパーツの属性を指定します。
Common.xaml	C1.Silverlight.Schedule\themes	スケジューラの共通要素の属性を指定します。
generic.xaml	C1.Silverlight.Schedule\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
IntervalAppointmentPresenter.xaml	C1.Silverlight.Schedule\themes	間隔予定プレゼンタの属性を指定します。

C1.Silverlight.Theming.BureauBlack

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.BureauBlack アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
BureauBlack.xaml	C1.Silverlight.Theming.BureauBlack	ComponentOne Silverlight の各コントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
System.Windows.Controls.Theming.BureauBlack.xaml	C1.Silverlight.Theming.BureauBlack	標準の Microsoft BureauBlack リソースとス

		タイトル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.BureauBlack	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Cosmopolitan アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
Cosmopolitan.xaml/Cosmopolitan_SL5rd.xaml	C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan	ComponentOne Silverlight の各コントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
Merged.xaml	C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan	各 ComponentOne WPF コントロールのリソースを指定します。
Theme.xaml/Theme_SL5rd.xaml	C1.Silverlight.Theming.Cosmopolitan	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.ExpressionDark アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
ExpressionDark.xaml	C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark	ComponentOne Silverlight の各コントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
System.Windows.Controls.Theming.ExpressionDark.xaml	C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark	標準の Microsoft ExpressionDark リソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.ExpressionDark	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.ExpressionLight アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
ExpressionLight.xaml	C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight	ComponentOne Silverlight の各コ

		ントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
System.Windows.Controls.Theming.ExpressionLight.xaml	C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight	標準の Microsoft ExpressionLight リソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.ExpressionLight	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.Office2007

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Office2007 アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
Office2007Base.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2007	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Office2007Black.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2007	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Office2007Blue.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2007	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Office2007Silver.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2007	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2007	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.Office2010

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Office2010 アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
Office2010Base.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2010	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Office2010Black.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2010	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Office2010Blue.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2010	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Office2010Silver.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2010	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.Office2010	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.RainierOrange

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.RainierOrange アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
RainierOrange.xaml	C1.Silverlight.Theming.RainierOrange	ComponentOne Silverlight の各コントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.RainierOrange	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.ShinyBlue アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
ShinyBlue.xaml	C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue	ComponentOne Silverlight の各コントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.ShinyBlue	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.WhistlerBlue アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
WhistlerBlue.xaml	C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue	ComponentOne Silverlight の各コントロールのリソースとスタイル設定要素を指定します。
Theme.xaml	C1.Silverlight.Theming.WhistlerBlue	標準のリソースとスタイル設定要素を指定します。

C1.Silverlight.TileView

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.TileView アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.TileView\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。

C1.Silverlight.Toolbar

次の XAML ファイルを使用して、C1.Silverlight.Toolbar アセンブリ内の以下の項目をカスタマイズできます。

要素	フォルダ	説明
generic.xaml	C1.Silverlight.Toolbar\themes	コントロールのさまざまなスタイルと初期スタイルのテンプレートを指定します。
C1ToolbarTab.xaml	C1.Silverlight.Toolbar\themes	C1ToolbarTab の属性を指定します。

暗黙のスタイルと明示的なスタイル

次のトピックでは、暗黙のスタイルと明示的なスタイル、および Silverlight Toolkit に含まれている **ImplicitStyleManager** の使用方法について詳しく説明します。Silverlight Toolkit の詳細については、「[CodePlex](#)」を参照してください。

暗黙のスタイル

WPF (Windows Presentation Foundation) に精通しているユーザーにとっては、スタイルを暗黙的に設定して、アプリケーションの外観を統一することが一般的である可能性があります。たとえば、アプリケーションのリソースで、特定のコントロールの全インスタンスにスタイルを設定するなどです。しかし、Silverlight では、WPF と同様に暗黙のスタイルがサポートされているわけではありません。通常は、コントロールの各インスタンスで、使用するスタイルを示す必要があります。1つのページに複数のコントロールがある場合、各インスタンスでスタイルを示すことは手間がかかります。このような場合に、**ImplicitStyleManager** を使用すると便利です。

ImplicitStyleManager クラスは、Microsoft.Windows.Controls アセンブリ内の Microsoft.Windows.Controls.Theming 名前空間にあります。

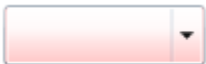
WPF と Silverlight のスタイル設定

WPF では、スタイルを暗黙的に設定できます。スタイルを暗黙的に設定すると、特定のタイプのすべてのインスタンスにスタイルを同時に設定できます。たとえば、WPF の **C1DropDown** コントロールには、次のマークアップでスタイルを設定できます。

マークアップ

```
<Grid>
  <Grid.Resources>
    <Style TargetType="{x:Type c1:C1DropDown}">
      < Setter Property="Background" Value="Red" />
    < /Style>
  </Grid.Resources>
  <c1:C1DropDown Height="30" HorizontalAlignment="Center" Name="C1DropDown1"
  VerticalAlignment="Center" Width="100" />
</Grid>
```

このように指定すると、次の図のように、コントロールの背景色が赤に設定されます。



グリッド内のすべての **C1DropDown** コントロールも赤で表示されます。グリッド外部の **C1DropDown** コントロールは赤で表示されません。これが暗黙のスタイルです。スタイルは、特定のタイプのすべてのコントロールに割り当てられます。継承されたコントロールはスタイルも継承します。

ただし、Silverlight では暗黙のスタイルがサポートされていません。Silverlight では、次のように指定して、グリッドのリソースにスタイルを追加できます。

マークアップ

```
<Grid.Resources>
  <Style x:Key="DropDownStyle" TargetType="c1:C1DropDown">
    <Setter Property="Background" Value="Red" />
  </Style>
</Grid.Resources>
```

ただし、次の例に示すように、スタイルが明示的に設定されていない限り、Silverlight **C1DropDown** コントロールにスタイルは設定されません。

```
<c1:C1DropDown Height="30" HorizontalAlignment="Center" Name="C1DropDown1" VerticalAlignment="Center"
```

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

```
Width="100" Style="{StaticResource DropDownStyle}"/>
```

1つのコントロールにスタイルを設定する場合は、この操作で十分対応できます。ただし、複数のコントロールがある場合は、それぞれにスタイルを設定することは手間がかかります。このような場合には、**ImplicitStyleManager** を使用します。詳細については、「[ImplicitStyleManager の使用](#)」を参照してください。

ImplicitStyleManager の使用

ImplicitStyleManager を使用して、WPF と同様に、Silverlight でスタイルを暗黙的に設定することができます。**ImplicitStyleManger** は、Silverlight Toolkit と共にインストールされる **System.Windows.Controls.Theming.Toolkit.dll** アセンブリに含まれています。

ImplicitStyleManager を使用するには、プロジェクト内の参照を **System.Windows.Controls.Theming.Toolkit.dll** アセンブリに追加して、次のマークアップに示すように、その名前空間を最初の **UserControl** タグに追加します。

```
<UserControl xmlns="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml/presentation"
xmlns:x="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml" xmlns:c1="clr-
namespace:C1.Silverlight;assembly=C1.Silverlight" xmlns:theming="clr-
namespace:System.Windows.Controls.Theming;assembly=System.Windows.Controls.Theming.Toolkit"
x:Class="C1Theming.MainPage" Width="640" Height="480">
```

参照と名前空間を追加したら、アプリケーションで **ImplicitStyleManager** を使用できます。たとえば、次のマークアップでは、スタイルが追加され、暗黙的に実装されます。

マークアップ

```
<Grid x:Name="LayoutRoot" Background="White"
theming:ImplicitStyleManager.ApplyMode="OneTime">
    <Grid.Resources>
        <Style TargetType="c1:C1DropDown">
            <Setter Property="Background" Value="Red" />
        </Style>
    </Grid.Resources>
    <StackPanel HorizontalAlignment="Center" VerticalAlignment="Center">
        <c1:C1DropDown Margin="5" Content="C1DropDown" Height="30" Width="100"/>
    </StackPanel>
</Grid>
```

コントロールへのテーマの適用

テーマのいずれかを ComponentOne WPF コントロールに適用することで、アプリケーションを簡単にカスタマイズすることができます。各テーマは、WPF Toolkit のテーマに基づいています。各テーマの詳細については、「[使用可能なテーマ](#)」を参照してください。この例では、ShinyBlue テーマをページの **C1DropDown** コントロールに追加します。

テーマを適用するには、次の手順に従います。

1. Visual Studio で、**[ファイル]→[新規プロジェクト]**を選択します。
2. [新しいプロジェクト]ダイアログボックスの左ペインから言語を選択し、右ペインで[WPF アプリケーション]を選択します。プロジェクトの名前と場所を入力し、[OK]をクリックします。
3. [新しい WPF アプリケーション]ダイアログボックスで、デフォルト設定をそのまま適用し、[OK]をクリックします。

新しいアプリケーションが作成され、**MainPage.xaml** ファイルが XAML ビューで開きます。

4. テーマに参照を追加します。
5. `<my:C1ShinyBlue>` タグと `</my:C1ShinyBlue>` タグの間にカーソルを置きます。
6. ツールボックスで、C1DropDown アイコンをダブルクリックして、このコントロールをプロジェクトに追加します。C1.WPF 名前空間がページに追加され、コントロールのタグが XAML ビューのテーマのタグの内部に追加されます。マークアッ

プは次のようになります。


マークアップ

```
<UserControl xmlns:c1="clr-namespace:C1.WPF;assembly=C1.WPF"
xmlns:my="clr-namespace:C1.WPF.Theming.ShinyBlue;
assembly=C1.WPF.Theming.ShinyBlue" x:Class="C1WPF.MainPage"
xmlns="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml/presentation
" xmlns:x="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml
" xmlns:d="http://schemas.microsoft.com/expression/blend/2008
" xmlns:mc="http://schemas.openxmlformats.org/markup-compatibility/2006"
mc:Ignorable="d" d:DesignWidth="640" d:DesignHeight="480">
<Grid x:Name="LayoutRoot">
<my:C1ShinyBlue>
<c1:C1DropDown Width="100" Height="30"></c1:C1DropDown>
</my:C1ShinyBlue>
</Grid>
</UserControl>
```

ここまでの成果

プロジェクトを実行して、**ShinyBlue** テーマで **C1DropDown** コントロールが表示されることを確認します。テーマの **Content** プロパティを設定できるのは一度だけです。そのため、この方法で複数のコントロールにテーマを設定するには、テーマ内にグリッドや StackPanel などのパネルを追加し、その後、複数のコントロールをパネル内に追加する必要があります。

また、**ImplicitStyleManager** を使用して、特定のタイプのすべてのコントロールにテーマを設定できます。詳細については、「[ImplicitStyleManager の使用](#)」を参照してください。

 **メモ:** このトピックでは、WPF版のファイル名を示します。Silverlight版では、ファイル名に含まれる [WPF] を [Silverlight] に置き換えてください。

Microsoft Ribbon コントロールへのテーマの適用

C1.WPF.Theming.Ribbon アセンブリを使用することで標準の **Microsoft Ribbon** コントロールにもテーマを適用できます。**Microsoft Ribbon** コントロールにテーマを適用するには、以下の手順に従います。

1. アプリケーションを作成して標準の **Microsoft Ribbon** コントロールを追加します。それから XAML マークアップに次の名前空間を追加します。

XAML

```
xmlns:ribbon="clr-
namespace:System.Windows.Controls.Ribbon;assembly=System.Windows.Controls.Ribbon"
```

2. 次のコードを追加して **Microsoft Ribbon** コントロールにテーマを適用します。

VB

```
Private Sub ApplyTheme(name As String)
    Dim theme As C1Theme = Nothing
    Dim ribbonTheme As C1Theme = Nothing
    Select Case name
        Case "Cosmopolitan"
            ribbonTheme = New
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonCosmopolitan()
    Exit Select
    Case "Cosmopolitan Dark"
```

```
        ribbonTheme = New
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonCosmopolitanDark()
        Exit Select
        Case "Office2013 White"
            ribbonTheme = New
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonOffice2013White()
        Exit Select
        Case "Office2013 LightGray"
            ribbonTheme = New
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonOffice2013LightGray()
        Exit Select
        Case "Office2013 DarkGray"
            ribbonTheme = New
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonOffice2013DarkGray()
        Case Else
            Exit Select
        End Select
        'Ribbon theme を適用します。
        ribbonTheme.Apply(ribbon)
    End Sub
```

C#

```
private void ApplyTheme(string name)
{
    C1Theme ribbonTheme = null;
    switch (name)
    {
        case "Cosmopolitan":
            ribbonTheme = new C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonCosmopolitan();
            break;
        case "Cosmopolitan Dark":
            ribbonTheme = new
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonCosmopolitanDark();
            break;
        case "Office2013 White":
            ribbonTheme = new
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonOffice2013White();
            break;
        case "Office2013 LightGray":
            ribbonTheme = new
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonOffice2013LightGray();
            break;
        case "Office2013 DarkGray":
            ribbonTheme = new
C1.WPF.Theming.Ribbon.C1ThemeRibbonOffice2013DarkGray();
            break;
        default:
            break;
    }
    // Ribbon theme を適用します。
    ribbonTheme.Apply(ribbon);
}
```

ウィンドウとダイアログへのスタイルの適用

以前のトピックには、標準のMicrosoft Ribbon コントロールにテーマを適用する方法を示しました。このトピックには、単純なクリックでダイアログとして使用されるウィンドウのクラスにテーマのようなスタイルを適用する方法を示します。このトピックには、以前のトピックで作成したサンプルを使用しています。

「検索と置換」ダイアログボックスに適用したテーマのようなスタイルを適用するには、次の手順で実行します。

1. スタイルを更新するにはApplyTheme()メソッド内次のコードを追加します。

```
C# copyCode
root.Style = TryFindResource(new ComponentResourceKey(typeof(Ribbon), "RibbonWindowStyle")) as Style;
if (theme != null)
{
    this.Resources.MergedDictionaries.Add(C1Theme.GetCurrentThemeResources(theme));
    var adornerLayer = AdornerLayer.GetAdornerLayer(LayoutRoot);
    if (adornerLayer != null)
    {
        // この実装で、C1Windowのインスタンスを含めてadornerに表示されているすべての項目にテーマが適用されます。
        C1Theme.ApplyTheme(adornerLayer, theme);
    }
}

// 以下のように、他のウィンドウに対応できるようにテーマリソースの辞書を追加します。
Application.Current.Resources.MergedDictionaries.Clear();
Application.Current.Resources.MergedDictionaries.Add(theme.GetNewResourceDictionary());
Application.Current.Resources.MergedDictionaries.Add(ribbonTheme.GetNewResourceDictionary());
```

2. コードのイベントハンドラ部分にて、find_Click()とreplace_Click()イベントハンドラを追加します。

```
C# copyCode
private void find_Click(object sender, RoutedEventArgs e)
{
    FindReplaceDialog frd = new FindReplaceDialog();
    // windowスタイルを適用します。
    frd.Style = TryFindResource(typeof(Window)) as Style;
    frd.ShowDialog();
}

private void replace_Click(object sender, RoutedEventArgs e)
{
    FindReplaceDialog frd = new FindReplaceDialog(1);
    // windowスタイルを適用します。
    frd.Style = TryFindResource(typeof(Window)) as Style;
    frd.ShowDialog();
}
```

3. 「検索と置換」ダイアログを初期化するには、プロジェクトにXAMLウィンドウ(FindReplaceDialog.xaml)を追加します。
4. FindReplaceDialog.xaml にて次のコードを追加します。

```
XAML copyCode
<Window x:Class="RibbonThemes.FindReplaceDialog"
    xmlns="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml/presentation"
    xmlns:x="http://schemas.microsoft.com/winfx/2006/xaml"
    Title="Find and Replace" MinHeight="242" MinWidth="480" Width="480" Height="242"
    WindowStartupLocation="CenterScreen" Topmost="True"
    xmlns:shell="clr-namespace:System.Windows.Shell;assembly=PresentationFramework"
    xmlns:ribbon="clr-namespace:System.Windows.Controls.Ribbon;assembly=System.Windows.Controls.Ribbon">
<Grid VerticalAlignment="Stretch">
<TabControl Name="_tab" SelectionChanged="_tab_SelectionChanged" VerticalAlignment="Stretch" >
    <TabItem Header="Find" />
    <TabItem Header="Replace" />
</TabControl>
<DockPanel Margin="0,24,0,0">
    <Grid DockPanel.Dock="Top" Margin="5,5,5,0" >
        <Grid.RowDefinitions>
            <RowDefinition Height="Auto" />
            <RowDefinition Height="Auto" />
        </Grid.RowDefinitions>
        <Grid.ColumnDefinitions>
            <ColumnDefinition Width="100"/>
            <ColumnDefinition />
        </Grid.ColumnDefinitions>

        <Label Content="Find what:" Grid.Row="0" Grid.Column="0" VerticalAlignment="Center"/>
        <ComboBox IsEditable="True" Grid.Row="0" Grid.Column="1" Margin="5"/>

        <Label Name="_lbReplace" Content="Replace with:" Grid.Row="1" Grid.Column="0" VerticalAlignment="Center"/>
        <ComboBox Name="_comboReplace" IsEditable="True" Grid.Row="1" Grid.Column="1" Margin="5"/>
    </Grid>

    <StackPanel DockPanel.Dock="Bottom" Orientation="Horizontal" Margin="5,0,5,0" HorizontalAlignment="Right" >
```

```
<Button Name="_btnReplaceAll" Content="Replace All" Width="75" Height="25" Margin="5"/>
<Button Name="_btnReplace" Content="Replace" Width="75" Height="25" Margin="5"/>
<Button Content="Find All" Width="75" Height="25" Margin="20,5,5,5"/>
<Button Content="Find Next" Width="75" Height="25" Margin="5" />
<Button Name="_btnClose" Content="Close" Width="75" Height="25" Margin="20,5,0,5" Click="_btnClose_Click"/>
</StackPanel>

<Grid Margin="5,5,5,0" >
  <Grid.RowDefinitions>
    <RowDefinition Height="Auto" />
    <RowDefinition Height="Auto" />
    <RowDefinition />
  </Grid.RowDefinitions>

  <Grid.ColumnDefinitions>
    <ColumnDefinition Width="Auto"/>
    <ColumnDefinition />
    <ColumnDefinition />
  </Grid.ColumnDefinitions>

  <Label Content="Within:" Grid.Row="0" Grid.Column="0" VerticalAlignment="Center"/>
  <ComboBox Width="90" Grid.Row="0" Grid.Column="1" Margin="5">
    <ComboBoxItem Content="Sheet" IsSelected="True"/>
    <ComboBoxItem Content="Workbook"/>
  </ComboBox>
  <CheckBox Grid.Row="0" Grid.Column="2" Content="Match case" VerticalAlignment="Center"/>

  <Label Content="Search:" Grid.Row="1" Grid.Column="0" VerticalAlignment="Center"/>
  <ComboBox Width="90" Grid.Row="1" Grid.Column="1" Margin="5">
    <ComboBoxItem Content="By Rows" IsSelected="True"/>
    <ComboBoxItem Content="By Columns"/>
  </ComboBox>
  <CheckBox Grid.Row="1" Grid.Column="2" Content="Match entire cell contents" VerticalAlignment="Center"/>
</Grid>
</DockPanel>

</Grid>
</Window>
```

5. 次のように、FindReplaceDialog.csにて、FindReplaceDialog.xaml用の対話ロジックを追加します。

C#	copyCode
<pre>using System; using System.Collections.Generic; using System.Linq; using System.Text; using System.Threading.Tasks; using System.Windows; using System.Windows.Controls; using System.Windows.Data; using System.Windows.Documents; using System.Windows.Input; using System.Windows.Media; using System.Windows.Media.Imaging; using System.Windows.Shapes; namespace RibbonThemes { /// <summary> /// FindReplaceDialog.xaml用の対話ロジック /// </summary> public partial class FindReplaceDialog : Window { public FindReplaceDialog() { InitializeComponent(); InitializeCommandBindings(); } public FindReplaceDialog(int index) { InitializeComponent(); InitializeCommandBindings(); _tab.SelectedIndex = index; } #region Events handler private void _tab_SelectionChanged(object sender, SelectionChangedEventArgs e) { var tabControl = sender as TabControl;</pre>	

```

if (tabControl != null)
{
    if (tabControl.SelectedIndex != 0)
    {
        _btnReplace.Visibility = Visibility.Visible;
        _btnReplaceAll.Visibility = Visibility.Visible;
        _lbReplace.Visibility = Visibility.Visible;
        _comboReplace.Visibility = Visibility.Visible;
    }
    else
    {
        _btnReplace.Visibility = Visibility.Hidden;
        _btnReplaceAll.Visibility = Visibility.Hidden;
        _lbReplace.Visibility = Visibility.Hidden;
        _comboReplace.Visibility = Visibility.Hidden;
    }
}

private void _btnClose_Click(object sender, RoutedEventArgs e)
{
    Close();
}

```

上記の手順を実行した後、サンプルを実行して、リボンツールバーにて、File & Select ドロップダウンメニュー内に表示される「検索と置換」オプションをクリックします。そして、「検索と置換」ダイアログは、メインウィンドウに適用されているテーマのようなスタイルで描画されます。

アプリケーションへのテーマの適用

次のトピックでは、Visual Studio でアプリケーション全体にテーマを適用する方法について詳しく説明します。このトピックでは、組み込みテーマを初期化するクラスをアプリケーションに追加します。次に、アプリケーションの MainPage にテーマを適用します。

テーマを適用するには、次の手順に従います。

1. Visual Studio で、[ファイル]→[新規プロジェクト]を選択します。
2. [新しいプロジェクト]ダイアログボックスの左ペインから言語を選択し、右ペインで[WPF アプリケーション]を選択します。プロジェクトの名前と場所を入力し、[OK]をクリックします。
3. [新しい WPF アプリケーション]ダイアログボックスで、デフォルト設定をそのまま適用し、[OK]をクリックします。新しいアプリケーションが作成され、**MainPage.xaml** ファイルが XAML ビューで開きます。
4. ソリューションエクスプローラーで、プロジェクトを右クリックし、[参照の追加]を選択します。
5. [参照の追加]ダイアログボックスで、[C1.WPF.Theming and C1.WPF.Theming.C1Blue]アセンブリを選択し、[OK]をクリックします。
6. ソリューションエクスプローラーで、プロジェクトを右クリックし、[追加]→[新しい項目]を選択します。
7. [新しい項目の追加]ダイアログボックスで、テンプレートのリストから[クラス]を選択し、クラスに「MyThemes」という名前を付けます。[追加]ボタンをクリックして新しいクラスを作成します。新しく作成された MyThemes クラスが開きます。
8. 次の import 文をクラスの先頭に追加します。

Visual Basic

```

Imports C1.WPF.Theming
Imports C1.WPF.Theming.C1Blue

```

C#

```

using C1.WPF.Theming;
using C1.WPF.Theming.C1Blue;
using C1.WPF.Theming;
using C1.WPF.Theming.C1Blue;

```

9. コードをクラスに追加します。次のようになります。

Visual Basic

```
Public Class MyThemes
Private Shared _myTheme As C1Theme = Nothing
Public Shared ReadOnly Property MyTheme() As C1Theme
Get
If _myTheme Is Nothing Then
End If
Return _myTheme
End Get
End Property
End Class
```

C#

```
public class MyThemes
{
private static C1Theme _myTheme = null;
public static C1Theme MyTheme
{
get
{
if (_myTheme == null)
_myTheme = new C1ThemeRainierOrange();
return _myTheme;
}
}
}
```

10. ソリューションエクスプローラーで、App.xaml.vb ファイルまたは App.xaml.cs ファイルをダブルクリックします。
11. 次の Import 文をファイルの先頭に追加します。ProjectName は、アプリケーションの名前です。

Visual Basic

```
Imports ProjectName
```

C#

```
using ProjectName;
```

12. コードを App.xaml.vb ファイルまたは App.xaml.cs ファイルの Application_Startup イベントに追加します。次のようになります。

Visual Basic

```
Private Sub Application_Startup(ByVal o As Object, ByVal e As StartupEventArgs)
Handles Me.Startup
Dim MyMainPage As New MainPage()
Dim themes As New MyThemes
themes.MyTheme.Apply(MyMainPage)
Me.RootVisual = MyMainPage
End Sub
```

C#

```
private void Application_Startup(object sender, StartupEventArgs e)
```

```
{
    MainPage MyMainPage = new MainPage();
    MyThemes.MyTheme.Apply(MyMainPage);
    this.RootVisual = MyMainPage;
}
```

これで、**MainPage.xaml** ファイルに追加するコントロールに、テーマが自動的に設定されます。

13. MainPage.xaml ファイルに戻り、XAML ビューの <Grid> タグと </Grid> タグの間にマウスポインタを合わせます。
14. ツールボックスで、C1DropDown アイコンをダブルクリックして、このコントロールをプロジェクトに追加します。
15. コントロールのマークアップを更新します。次のようになります。

マークアップ

```
<c1:C1DropDown Width="100" Height="30"></c1:C1DropDown>
```

ここまでの成果

プロジェクトを実行して、**RainierOrange** テーマで **C1DropDown** コントロールが表示されることを確認します。選択したテーマを変更するには、**MyThemes** クラス内のテーマを変更するだけで済みます。

たとえば、ExpressionDark テーマに変更するには、次の手順に従います。

1. C1.Theming.WPF.ExpressionDark.dll アセンブリに参照を追加します。
2. プロジェクト内の MyThemes クラスを開き、次の Import 文をクラスの前頭に追加します。

Visual Basic

```
Imports C1.WPF.Theming.ExpressionDark
```

C#

```
using C1.WPF.Theming.ExpressionDark;
```

3. クラスのコードを更新します。次のようになります。

Visual Basic

```
Public Class MyThemes
    Private _myTheme As C1Theme = Nothing
    Public ReadOnly Property MyTheme() As C1Theme
        Get
            If _myTheme Is Nothing Then
                _myTheme = New C1ThemeExpressionDark()
            End If
            Return _myTheme
        End Get
    End Property
End Class
```

C#

```
public class MyThemes
{
    private static C1Theme _myTheme = null;
    public static C1Theme MyTheme
    {
        get
        {
```

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

```
        if (_myTheme == null)
            _myTheme = new ClThemeExpressionDark();
        return _myTheme;
    }
}
```

この手順を実行すると、テーマが **MainPage.xaml** ファイルに適用されることに注意してください。テーマを追加ページに適用するには、次のコードを各ページに追加します。


Visual Basic

```
Dim themes As New MyThemes
themes.MyTheme.Apply(MyMainPage)
```

C#

```
MyThemes themes = new MyThemes();
themes.MyTheme.Apply(MyMainPage);
```

これで、テーマがページに適用されます。このため、テーマを変更するにはクラスの1行のコードを変更するだけで済み、テーマを適用するには1行のコードを各ページに追加するだけで済みます。

 **メモ:** このトピックでは、WPF版のファイル名を示します。Silverlight版では、ファイル名に含まれる [WPF] を [Silverlight] に置き換えてください。

ComponentOne ClearStyle 技術

ComponentOne ClearStyle は、Silverlight コントロールと WPF コントロールのスタイル設定をすばやく簡単に実行できる新技術です。ClearStyle を使用すると、面倒な XAML テンプレートやスタイルリソースを操作しなくても、コントロールのカスタムスタイルを作成できます。

現在のところ、すべての標準 Silverlight コントロールにテーマを追加するには、スタイルリソーステンプレートを作成する必要があります。Microsoft Visual Studio ではこの処理は困難であるため、Microsoft は、このタスクを簡単に実行できるように Expression Blend を導入しました。ただし、Blend に不慣れであったり、十分な学習時間を取れない開発者にとっては、この2つの環境を行き来することはかなり困難な作業です。デザイナーに作業を任せられることも考えられますが、デザイナーと開発者が XAML ファイルを共有すると、かえって煩雑になる可能性があります。

このような場合に、ClearStyle を使用します。ClearStyle は、Visual Studio を使用して直感的な方法でスタイル設定を実行できるようにします。ほとんどの場合は、アプリケーション内のコントロールに対して単純なスタイル変更を行うだけなので、この処理は簡単に行えるべきです。たとえば、データグリッドの行の色を変更するだけであれば、1つのプロパティを設定するだけで簡単に行えるようにする必要があります。一部の色を変更するためだけに、完全に複雑なテンプレートを作成する必要はありません。

ClearStyle の仕組み

コントロールのスタイルの主な要素は、それぞれ単純な色プロパティとして表されます。これが集まって、コントロール固有のスタイルプロパティセットを形成します。たとえば、**Gauge** には **PointerFill** プロパティや **PointerStroke** プロパティがあり、**DataGrid** の行には **SelectedBrush** や **MouseOverBrush** があります。

たとえば、フォーム内に ClearStyle をサポートしていないコントロールがあるとします。その場合は、ClearStyle によって作成された XAML リソースを使用して、フォーム内の他のコントロールを調整して合わせるすることができます(正確な色合わせなど)。また、スタイルセットの一部を ClearStyle(カスタムスクロールバーなど)で上書きしたいとします。ClearStyle は拡張可能なのでこれも可能です。必要な場所でスタイルを上書きできます。

ClearStyle は、すばやく簡単にスタイルを変更することを意図したソリューションですが、ComponentOne のコントロールには引き続き従来の方法を使用して、必要なスタイルを細かく指定して作成できます。完全なカスタム設計が必要になる特別な状況で ClearStyle が邪魔になることはありません。

ClearStyle プロパティ

ComponentOne は、リリースごとに、ClearStyle 機能が追加されたコントロールを増やしていく予定です。現在のところ、一部の Silverlight コントロールと WPF コントロールが ClearStyle をサポートしています。次の表に、ClearStyle をサポートする Silverlight コントロールと、各コントロールがサポートする ClearStyle プロパティを一覧します。

プロパティ	サポートされるコントロール
AlternatingBackground	C1Scheduler
AppointmentForeground	C1Scheduler
AlternatingRowBackground	C1DataGrid
AlternatingRowForeground	C1DataGrid
Background	C1Accordion, C1AccordionItem, C1ColorPicker, C1ComboBox, C1ComboBoxItem, C1ContextMenu, C1CoverFlow, C1DataGrid, C1DateTimePicker, C1Docking, C1DropDown, C1Expander, C1ExpanderButton, C1FilePicker, C1HeaderedContentControl, C1Map, C1MediaPlayer, C1Menu, C1MenuItem, C1MenuItem, C1NumericBox, C1Window, C1RangeSlider, C1PropertyGrid, C1Scheduler, C1TabControl, C1TabItem, C1TextBoxBase, C1TimeEditor, C1ToolBar, C1ToolBarGroup, C1ToolBarStrip, C1ToolBarStripItem, C1TreeView, C1TreeViewItem, C1Window
ButtonBackground	C1ComboBox, C1CoverFlow, C1DropDown, C1FilePicker, C1NumericBox, C1TimeEditor, C1ToolBarStrip, C1Window
ButtonForeground	C1ComboBox, C1CoverFlow, C1DropDown, C1FilePicker, C1NumericBox, C1TimeEditor, C1ToolBarStrip, C1Window
CaretBrush	C1ColorPicker, C1ComboBox, C1DateTimePicker, C1NumericBox, C1TextBoxBase, C1TimeEditor
CategoryBackground	C1PropertyGrid
CategoryForeground	C1PropertyGrid
ControlBackground	C1Scheduler
ControlForeground	C1Scheduler
ExpandedBackground	C1AccordionItem, C1Expander, C1ExpanderButton,
FocusBrush	C1ColorPicker, C1ComboBox, C1DataGrid, C1DateTimePicker, C1DropDown, C1Expander, C1ExpanderButton, C1FilePicker, C1MediaPlayer, C1NumericBox, C1Window, C1RangeSlider, C1TextBoxBase, C1TimeEditor, C1ToolBar, C1ToolBarGroup, C1ToolBarStrip, C1ToolBarStripItem
Header	C1Accordion, C1AccordionItem, C1Expander, C1HeaderedContentControl, C1Window
HighlightedBackground	C1ContextMenu, C1Menu, C1MenuItem, C1MenuItem
HorizontalGridLinesBrush	C1DataGrid
MouseOverBrush	C1Accordion, C1AccordionItem, C1ColorPicker, C1ComboBox, C1ComboBoxItem, C1CoverFlow, C1DataGrid, C1DateTimePicker, C1Docking, C1DropDown, C1Expander, C1ExpanderButton, C1FilePicker, C1Map, C1MediaPlayer, C1NumericBox,

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

	C1RangeSlider, C1PropertyGrid, C1TabControl, C1TabItem, C1TextBoxBase, C1TimeEditor, C1ToolBar, C1ToolBarGroup, C1ToolBarStrip, C1ToolBarStripItem, C1TreeView, C1TreeViewItem, C1Window
OpenedBackground	C1ContextMenu, C1Menu, C1MenuList, C1MenuItem
PressedBrush	C1ColorPicker, C1ComboBox, C1CoverFlow, C1DataGrid, C1DateTimePicker, C1DropDown, C1ExpanderButton, C1FilePicker, C1Map, C1MediaPlayer, C1NumericBox, C1PropertyGrid, C1RangeSlider, C1TextBoxBase, C1TimeEditor, C1ToolBar, C1ToolBarGroup, C1ToolBarStrip, C1ToolBarStripItem, C1Window
RowBackground	C1DataGrid
RowForeground	C1DataGrid
SelectedBackground	C1ComboBox, C1ComboBoxItem, C1DataGrid, C1Scheduler, C1TabControl, C1TabItem, C1TreeView, C1TreeViewItem,
SelectionBackground	C1ColorPicker, C1ComboBox, C1DateTimePicker, C1FilePicker, C1NumericBox, C1TextBoxBase, C1TimeEditor
SelectionForeground	C1ColorPicker, C1ComboBox, C1DateTimePicker, C1FilePicker, C1NumericBox, C1TextBoxBase, C1TimeEditor
TabItemBackground,	C1Docking
TabStripBackground	C1Docking, C1TabControl
TabStripForeground	C1Docking, C1TabControl
TodayBackground	C1Scheduler

ローカライズ

Studio for WPF および Studio for Silverlight では 22 以上の国際言語へのローカライズが組み込みでサポートされているため、アプリケーションのユーザーを全世界に広げることができます。ComponentOne WPF および Silverlight コントロールに埋め込まれているすべての UI 文字列を自動的に以下の言語に翻訳できます(英語以外)。

1	アラビア語(ar)
2	チェコ語(cs)
3	デンマーク語(da)
4	オランダ語(nl)
5	ドイツ語(de)
6	ギリシャ語(el)
7	スペイン語(es)
8	フィンランド語(fi)
9	フランス語(fr)
10	ヘブライ語(he)
11	イタリア語(it)
12	日本語(ja)
13	ノルウェー語(no)

14	ポーランド語 (pl)
15	ポルトガル語 (pt)
16	ロシア語 (ru)
17	スロバキア語 (sk)
18	スウェーデン語 (sv)
19	トルコ語 (tr)
20	中国語 (zh)
21	繁体字中国語 (zh-Hant)- 台湾、香港
22	簡体字中国語 (zh-Hans)- 中国

WPF のローカライズ

WPF アプリケーションをローカライズするには、いくつかの方法があります。アプリケーションで ComponentOne コントロールを使用すると、プロジェクトの設定で指定した発行言語に基づいて、ローカライズ版リソースが自動的に出力されます。これらのリソースはインストール場所 (C:\Program Files\ComponentOne\Studio for WPF\bin) から取得され、プロジェクトに手作業で追加する必要はありません。

アプリケーションの UI カルチャを目的のカルチャに変更します。1つの方法としては、これをアプリケーションの現在のスレッドで指定します。

Visual Basic

・ カルチャをスペイン語 (es) に設定します

```
Thread.CurrentThread.CurrentUICulture = New CultureInfo("es")
```

C#

// カルチャをスペイン語 (es) に設定します

```
Thread.CurrentThread.CurrentUICulture = new CultureInfo("es");
```

C1Scheduler、**C1DataGrid**、**C1DockControl**、**C1PdfViewer**、**C1RichTextBoxToolBar** などのコントロールには、多くの UI 文字列が埋め込まれているため、すばやいローカライズのメリットが大きくなります

Silverlight のローカライズ

Silverlight アプリケーションのローカライズは多少異なり、2つの追加手順が必要になります。

最初に、プロジェクトの Resources ディレクトリに目的のローカライズ版リソースファイル (.resx) を追加する必要があります (ビルドアクション: 埋め込みリソース)。各 ComponentOne アセンブリのローカライズ版リソースファイルは、C:\Program Files\ComponentOne\Studio for Silverlight\Help\LocalizationResources.zip として提供されています。

次に、プロジェクトをアンロードし、プロジェクト .csproj ファイル内の <SupportedCultures> ノードを編集する必要があります。詳細については、「[こちら](#)」を参照してください。

```
<SupportedCultures>es,en</SupportedCultures>
```

最後の手順は WPF と同じです。アプリケーションスレッドのカルチャを変更します。

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

Visual Basic

' カルチャをスペイン語(es)に設定します

```
Thread.CurrentThread.CurrentUICulture = New CultureInfo("es")
```

C#

// カルチャをスペイン語(es)に設定します

```
Thread.CurrentThread.CurrentUICulture = new CultureInfo("es");
```

ライブデモでは、Studio for Silverlight で提供されるすべての言語を確認できます。

この情報は、C1 コントロールのローカライズだけを対象としています。その他の UI 文字列もローカライズが必要になる可能性があります。その場合、Silverlight のローカライズについて Microsoft から提供される情報については、[こちら](#)を参照してください。

UI オートメーションのサポート

UI オートメーション (UIA) は、スクリーンリーダーなどのアクセシビリティアプリケーションや UI テストコードがユーザーインターフェース要素を調査できるようにします。また、コードからユーザー操作をシミュレーションできるようにします。付属する C1.WPF.Automation ライブラリは、ComponentOne WPF コントロール用のオートメーションピアクラスのセットです。オートメーションピアは、それぞれに対応するコントロールクラスを Microsoft オートメーションフレームワークに公開して、そのコントロールを自動化された UI テストから効果的に使用できるようにします。

現在の UIA ツリーを調査するための Inspect.exe という無償ツールが次の場所にあります。

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/dd318521\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/dd318521(v=vs.85).aspx)

WPF アクセシビリティに関する開発者向けの詳細情報については、以下を参照してください。

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/gg712258.aspx>

UI オートメーションの概要

C1.WPF.Automation.4.dll および **C1.Silverlight.Automation.dll** は、ComponentOne WPF/Silverlight コントロール用のオートメーションピアクラスのセットです。オートメーションピアは、それぞれに対応するコントロールクラスを Microsoft オートメーションフレームワークに公開して、そのコントロールを自動化された UI テストから使用できるようにします。Microsoft オートメーションフレームワークの詳細については、<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms747327.aspx> を参照してください。

現在の UIA ツリーを調査するための Inspect.exe という無償ツールが次の場所にあります。

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/dd318521\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/dd318521(v=vs.85).aspx)

WPF アクセシビリティに関する開発者向けの詳細情報については、以下を参照してください。

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/gg712258.aspx>

Silverlight でサポートされているオートメーションパターンを以下にリストします。

ComponentOne Silverlight オートメーションピア	サポートされているオートメーションパターン
C1TreeView	Selection
C1TreeViewItem	ExpandCollapse, SelectionItem, ScrollItem
C1TabControl	Selection
C1TabItem	SelectionItem, ScrollItem

C1DockTabControl	*一部* Window、Transform、Dock
C1Book	
C1BookZone	Invoke
C1FlexComboBox	ExpandCollapse、Selection
C1FlexGridCell	Invoke、Value、SelectedItem、ScrollItem、TableItem、GridItem
C1FlexGridPanel	
C1FlexGridRow	ExpandCollapse、ScrollItem、SelectedItem
C1Gauge	Value、RangeValue
C1LinearGauge	Value、RangeValue
C1Knob	Value、RangeValue
C1OutlookBar	ExpandCollapse、Selection
C1TileView	Selection
C1TileViewItem	SelectedItem、ExpandCollapse、ScrollItem


オートメーションパターンの詳細については、次のサイトを参照してください。<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms752362.aspx>

C1.WPF.Automation.4.dll および C1.Silverlight.Automation.dll の使用

WPF/Silverlight アプリケーションで **C1.WPF.Automation.4.dll/C1.Silverlight.Automation.dll** を使用するには、プロジェクトに参照を追加するだけです。

オートメーションピアクラスによる自動 UI テスト

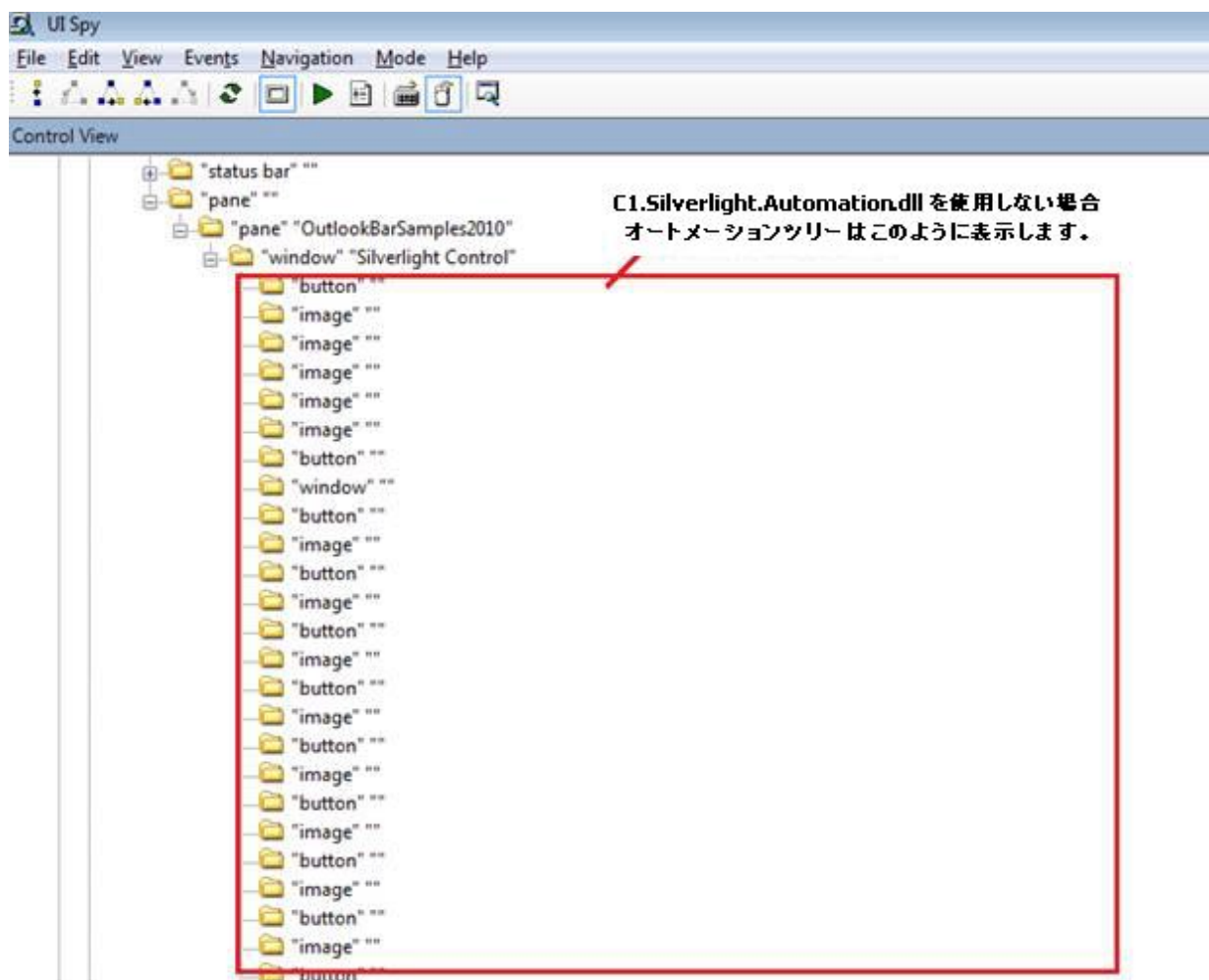
例として、ComponentOne Studio for Silverlight サンプルにある OutlookBarSamples にユニットテストを追加してみましょう。Studio for WPF の場合も同様に実現できます。

 **メモ:** ComponentOne のサンプルは、デフォルトでは **ComponentOne Samples** フォルダにインストールされます。このフォルダは、C:\Documents and Settings\<ユーザー名>\マイドキュメント\ComponentOne Samples\ または C:\Users\<ユーザー名>\Documents\ComponentOne Samples\ にあります。

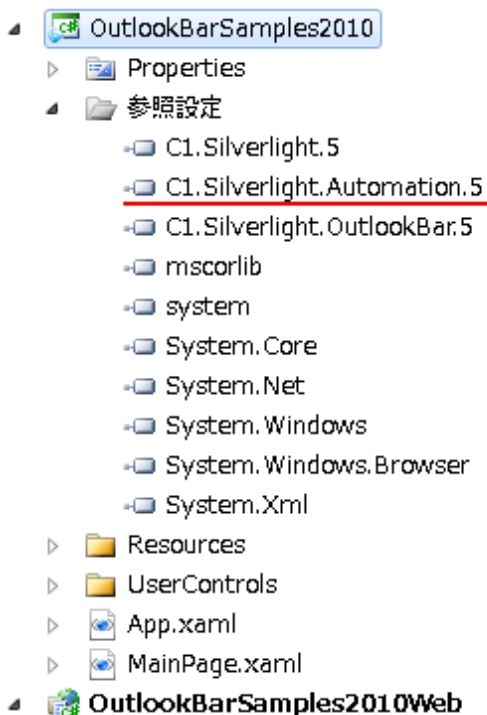
最初の手順では、C1.Silverlight.Automation.dll を使用しない場合に、サンプルがどのように表示されるかを示します。

1. 何も変更せずに OutlookBarSamples を起動し、UI Spy などのツールを使用してアプリケーションのオートメーションツリーを見てください。
ツリーには、画像やボタンが未整理のまま表示されます。テストの記述には役立ちません。

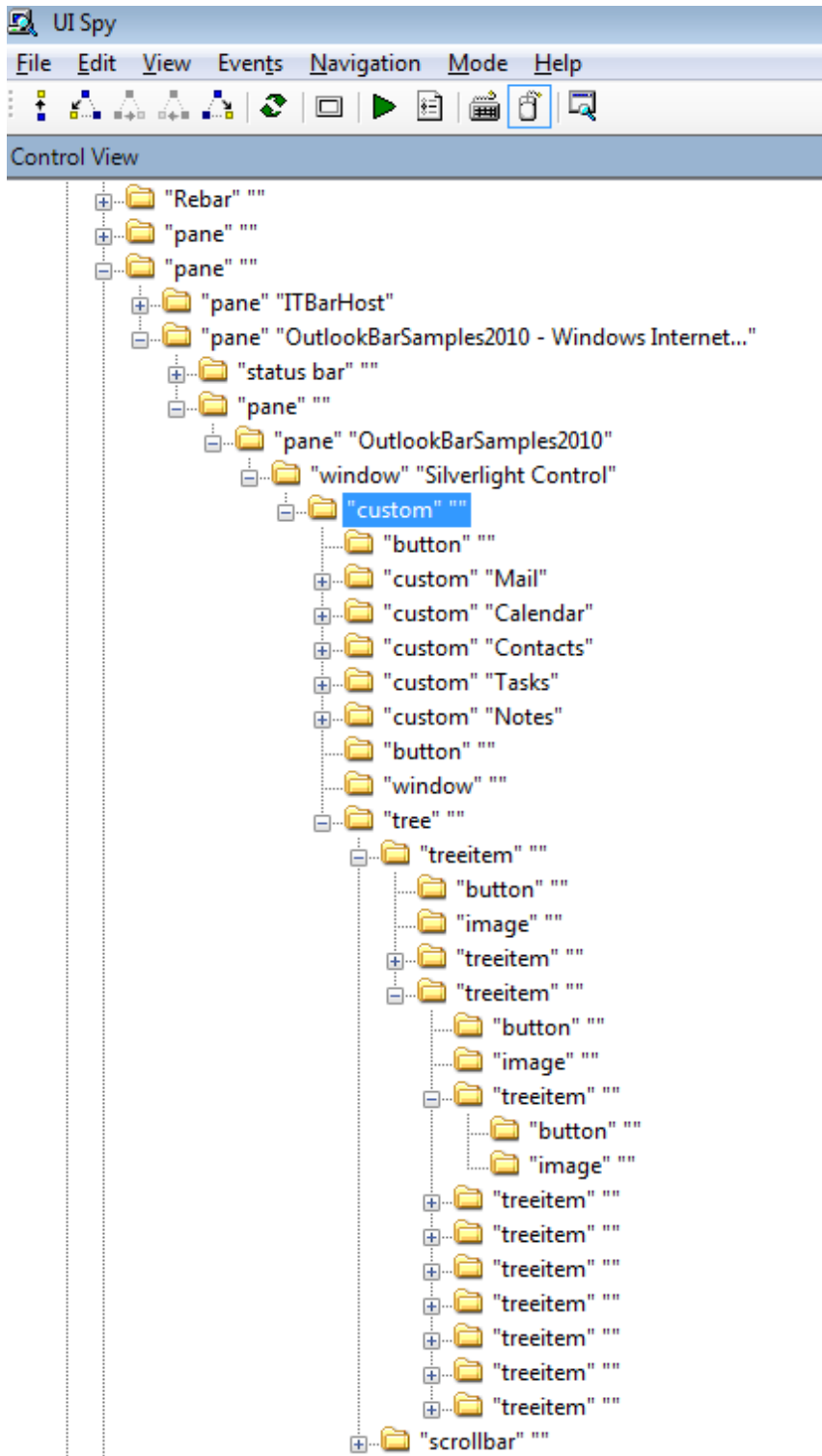
ComponentOne Studio for WPF/Silverlight



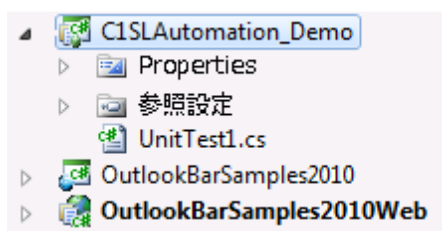
2. プロジェクトに C1.Silverlight.Automation.dll への参照を追加します。



3. アプリケーションを起動し、オートメーションツリーを見てください。これで、ツリーを利用できそうです。



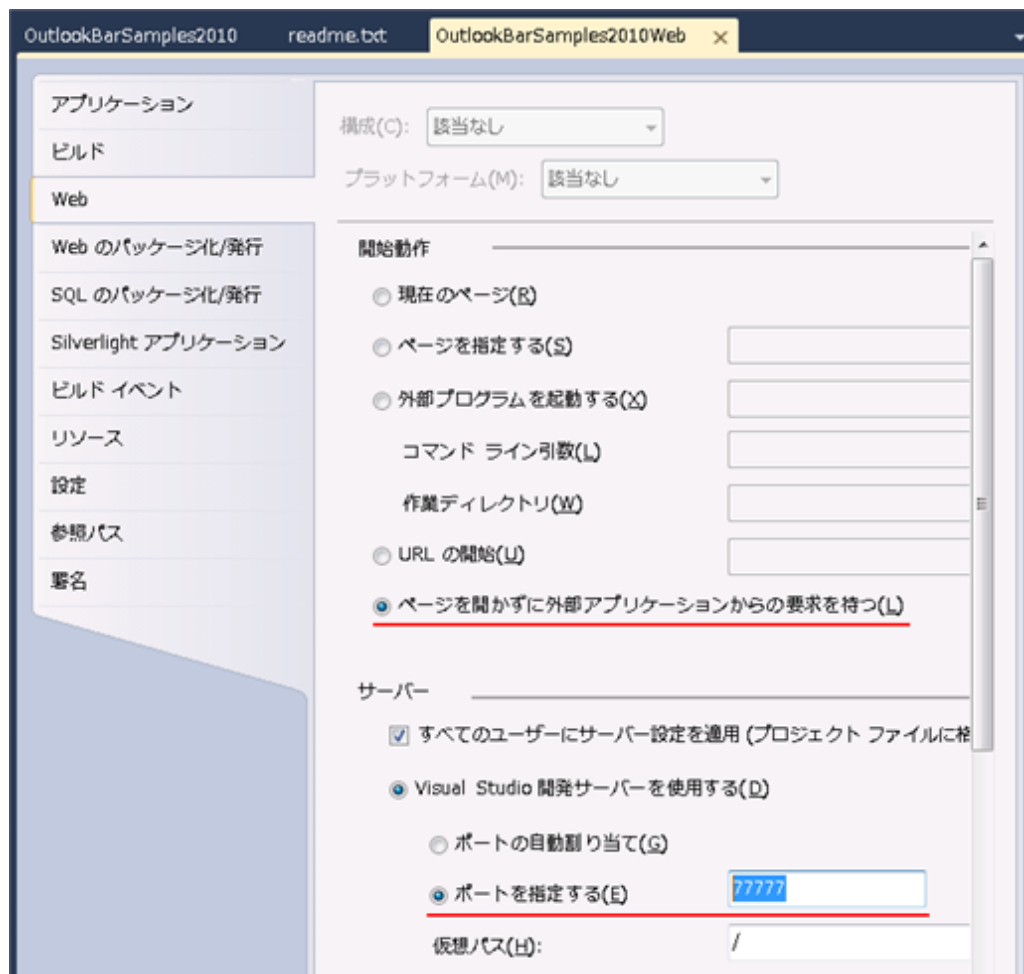
4. テストプロジェクトを作成してソリューションに追加します。



5. ソリューションを設定します。
OutlookBarSamples2010Web をスタートアッププロジェクトとして設定します。

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

次の例に示すようにプロジェクトのプロパティを指定します。



6. CodedUITest をテストプロジェクトに追加します。
7. ユニットテストを記述します。オートメーション要素を見つけ、そのパターンを使用します。

C#

```
[TestMethod]
public void OutlookBarCollapseExpand()
{
    BrowserWindow.CurrentBrowser = "IE";
    // ブラウザを実行します
    BrowserWindow win = BrowserWindow.Launch("about:blank");
    System.Diagnostics.Process process = SearchIEProcess("Blank Page");
    try
    {
        win.NavigateToUrl(new Uri("http://localhost:7777"));
        // 完了するまでしばらく待ちます
        System.Threading.Thread.Sleep(5000);
        AutomationElement mainElement =
        System.Windows.Automation.AutomationElement.FromHandle(process.MainWindowHandle);

        AutomationElement outlookBar =
        mainElement.FindFirst(TreeScope.Descendants, new
        PropertyCondition(AutomationElement.ClassNameProperty, "C1OutlookBar"));
    }
}
```



```
Assert.IsNotNull(outlookBar, "Cannot find control.");

object pattern = null;
outlookBar.TryGetCurrentPattern(ExpandCollapsePattern.Pattern,
out pattern);

Assert.IsNotNull(pattern, "Cannot find ExpandCollapsePattern.");
ExpandCollapsePattern expandCollapsePattern =
(ExpandCollapsePattern)pattern;

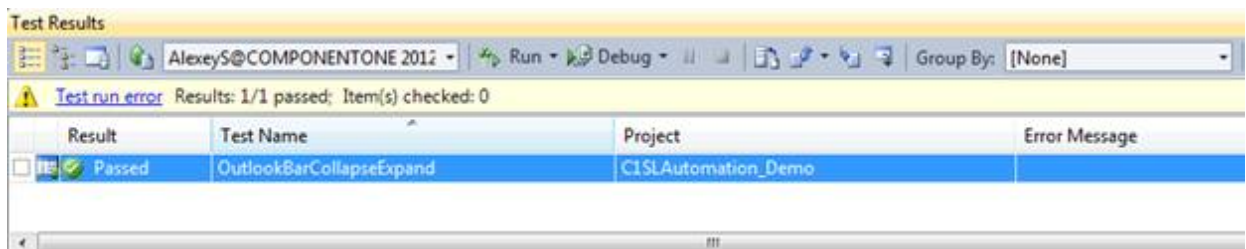
bool collapsed =
expandCollapsePattern.Current.ExpandCollapseState ==
ExpandCollapseState.Collapsed;
Assert.IsFalse(collapsed, "OutlookBar should be expanded on
start");

expandCollapsePattern.Collapse();
collapsed = expandCollapsePattern.Current.ExpandCollapseState ==
ExpandCollapseState.Collapsed;
Assert.IsTrue(collapsed, "OutlookBar should be collapsed now");

var items = mainElement.FindAll(TreeScope.Descendants, new
PropertyCondition(AutomationElement.ClassNameProperty, "C1OutlookItem"));
Assert.AreEqual(5, items.Count, "5 OutlookItems expected");

System.Threading.Thread.Sleep(2000);
}
finally
{
    // ブラウザを閉じます
    process.CloseMainWindow();
}
}
```

8. テストを実行します。



Silverlight に関する参考情報

以下のトピックでは、初めて Silverlight を使用する際に役立つ情報を説明します。また、Silverlight のリソースやテンプレートに関する一般的な情報、Silverlight ファイルの展開についても説明します。

Silverlight のリソース

ComponentOne Studio for WPF/Silverlight

このヘルプファイルは、**ComponentOne Studio for Silverlight** について説明します。Silverlight を使用するにあたっての一般的なヘルプについては、以下のリソースをお勧めします。

1. <http://www.silverlight.net> 公式の Silverlight サイトには、ダウンロード、サンプル、チュートリアルなどへのリンクが揃っています。
2. <http://silverlight.net/learn/tutorials.aspx> Jesse Liberty による Silverlight チュートリアル。次のトピックから成ります。
 - チュートリアル1: Silverlight ユーザーインターフェイスコントロール
 - チュートリアル2: データ連結
 - チュートリアル3: LINQ と WCF を使って DataGrid に SQL データベースを表示する
 - チュートリアル4: ユーザーコントロール
 - チュートリアル5: スタイル、テンプレート、Visual State Manager
 - チュートリアル6: Expression Blend (開発者向け)
 - チュートリアル7: Expression Blend を使用した DataBinding および DataTemplate
 - チュートリアル8: 複数ページアプリケーション
 - チュートリアル9: Silverlight DataGrid をフィードする ADO.NET DataEntities および WCF
 - チュートリアル10: ハイパービデオ
3. <http://timheuer.com/blog/articles/getting-started-with-silverlight-development.aspx>
Tim Heuer による Silverlight チュートリアル。次のトピックから成ります。
 - 1部: はじめに – 必須ツールの使用と最初の "Hello World" の取得
 - 2部: UI レイアウトの定義 – レイアウトの理解と Blend の利用
 - 3部: データへのアクセス – 格納場所からのデータの取得方法
 - 4部: データの連結 – 取得したデータの利用方法
 - 5部: 追加コントロールの統合 – コアに属さないコントロールの使用
 - 6部: スタイルとテンプレートを使用した UI の品質向上
 - 7部: ブラウザ外部でのアプリケーションの利用
4. <http://weblogs.asp.net/scottgu/pages/silverlight-posts.aspx>
Scott Guthrie による Silverlight のヒント、ポイント、チュートリアル、リンクページ。役立つリソースです。このページは、いくつかのチュートリアルとサンプルにリンクしています。
5. <http://weblogs.asp.net/scottgu/archive/2008/02/22/first-look-at-silverlight-2.aspx>
Scott Guthrie による8部構成の優れたチュートリアル。次のトピックから成ります。
 - 1部: Silverlight 2 と VS 2008 を使用した "Hello World" の作成
 - 2部: レイアウト管理の使用
 - 3部: ネットワークを使用したデータの取得と DataGrid へのデータの挿入
 - 4部: スタイル要素を使用した外観のカプセル化
 - 5部: ListBox と DataBinding を使用したリストデータの表示
 - 6部: ユーザーコントロールを使用したマスター/詳細シナリオの実装
 - 7部: テンプレートを使用したコントロールの外観のカスタマイズ
 - 8部: WPF を使用した Digg デスクトップバージョンのアプリケーションの作成
6. <http://blogs.msdn.com/corrinab/archive/2008/03/11/silverlight-2-control-skins.aspx>
Corrina Barber を管理者とする、Silverlight のコントロールとアプリケーションのスキン機能に関する実用的な意見交換の場です。

エンタープライズ環境への展開

Silverlight アプリケーションをエンタープライズ環境に企業展開する計画を立てる場合は、いくつかの重要な注意事項があります。これらの注意事項、システム要件、展開方法、展開後の Silverlight の保守とサポートの方法については、Microsoft Silverlight チームが提供する「Silverlight デプロイメント ガイド」を参照してください。

このガイドは、Silverlight の企業展開の計画と実行に役立ちます。次のトピックから成ります。

- 展開の計画
- 展開戦略のテスト
- Silverlight の展開
- 環境内の Silverlight の保守

「Silverlight デプロイメント ガイド」は、「[Silverlight ダウンロード](#)」ページからダウンロードできます。

